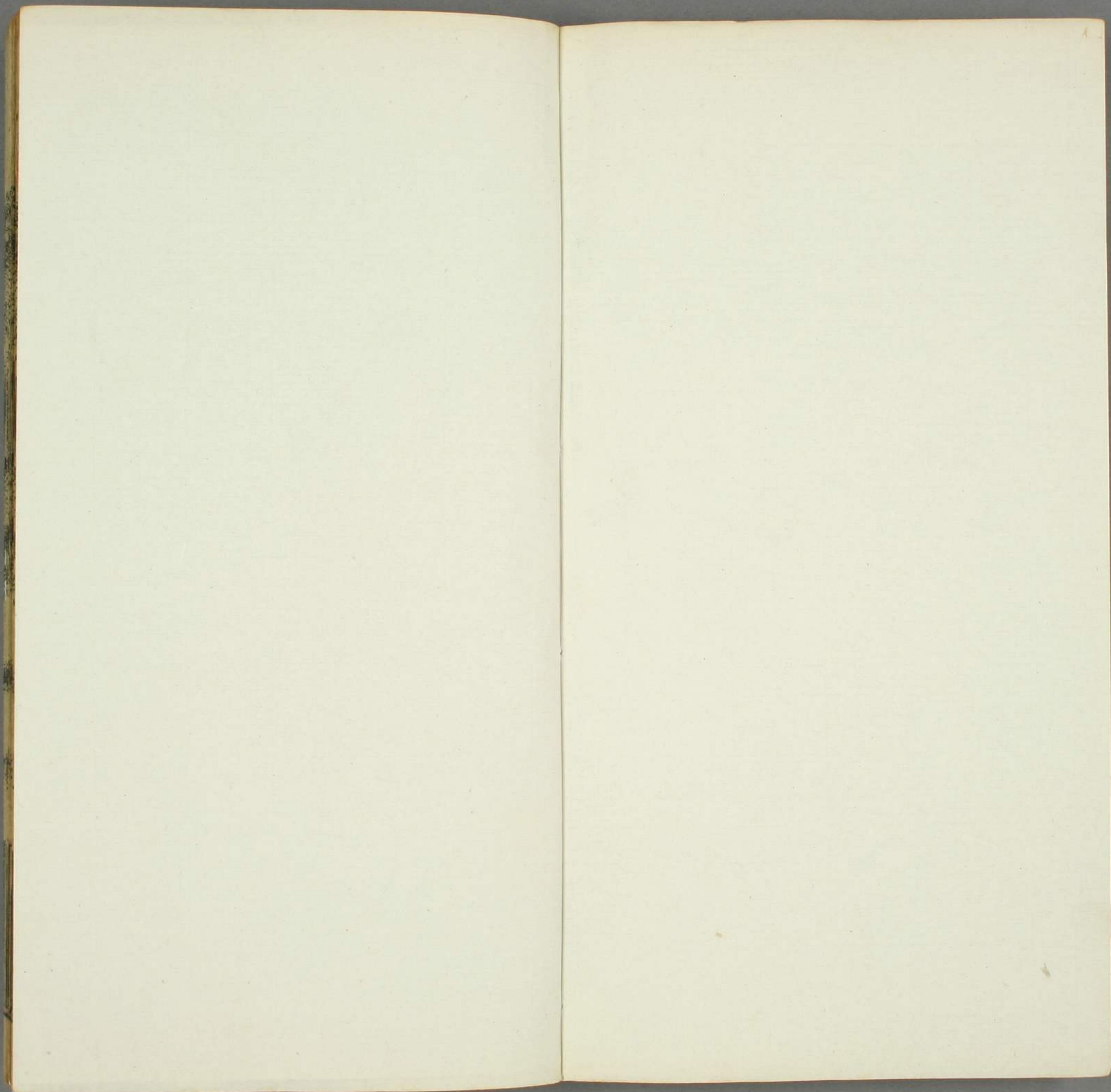




伊 4
1046
73

卷二百六十六之二百六十八
封建





特
74
1046
73

文獻通考卷之二百六十六

鄱陽 馬 端臨 文義所 貴與 那

封建考

王子侯

高祖 凡及兄子侯者三人

顏羨侯信帝兄子七年封立十三年有罪削爵一級為關內侯

台陽侯喜帝兄為代王匈奴攻代棄國廢為侯八年封七年薨

漢後封 吳王

德哀侯廣帝兄子十二年封 通 鮑 何 坐酎金免

楚 元王子侯者六人 郢 沓 禮 二人 嗣 封 王 已 見 前

休侯富景帝時封 登 嘉 章 亡後國除

沈猷侯歲景帝時封 受 坐為宗正有罪免

利
289
73

東
學

文獻通考卷之二百六十六

封建考

上

貴與

宛胸侯勢景帝時封 三年反誅

棘樂侯調景帝時封 應慶 坐酎金免

齊悼惠王子侯者十二人 章與君將闕辟光志印置

管共侯罷有皮 孝文時封 戎奴 坐反誅

氏共侯竊國 孝文時封 偃 坐反誅

管平侯侯都 孝文時封 廣 坐反誅

楊立侯安 孝文時封 偃 坐出國界削為司寇

淮南厲王侯者四人 安勃賜三人

東城侯良 孝文時封 無子國除

梁孝王子侯者二人

乘氏侯買 桓邑侯明 俱景帝時封後為王見前

河間獻王子侯者十五人

茲侯明 武帝時封 坐殺人自殺國除

距陽侯句 武帝時封 婁 坐酎金免

婁侯退 武帝時封 嬰 益壽 克世 遺 亡後國除

阿武侯豫 武帝時封 宣 信 嬰齊 黃 長久 王莽時絕

參戶侯免 武帝時封 嚴 元 利親 度

州鄉侯禁 武帝時封 齊 惠 商 伯 禹 王莽時絕

平成侯禮 武帝時封 坐罪免

廣侯順 武帝時封 坐酎金免

蓋侯讓 武帝時封 坐酎金免

重侯擔 武帝時封 坐罪免

沈陽侯自為 不得封年

景成侯雍 宣帝時封 歐 禹 福

平隄侯昭

(宣帝時封)

榮

曾世育

迺始

樂鄉侯終

(宣帝時封)

蒯

鄧勝

地緒

高郭侯隘

(宣帝時封)

久長

菲稱霸

亡後

(長沙定王子侯者凡十五人)

安城侯蒼

(武帝時封)

自當

壽光

坐罪廢

宜春侯成

(武帝時封)

坐酎金免

句容侯黨

(武帝時封)

亡後

容陵侯福

(武帝時封)

坐酎金免

路陵侯童

(武帝時封)

坐殺人自殺

攸輿侯則

(武帝時封)

坐篡死罪囚棄市

茶陵侯訢

(武帝時封)

湯

亡後

建成侯拾

(武帝時封)

坐罪免

安衆侯丹

(武帝時封)

山樹

毋妨

褒

歎

崇

王莽時

舉兵為莽所害

龍建武二年紹封

松

葉平侯喜

(武帝時封)

坐酎金免

夷夷侯義

(武帝時封)

禹

奉宗

慶

福

春陵侯買

(武帝時封)

熊渠

仁

敞

祉

建武二年立為

城陽王

郡梁侯定

(武帝時封)

侯

弘

順懷

容

佗人

王莽時絕

沘陽侯狩燕

(武帝時封)

亡後

穀陵侯賢

(武帝時封)

真定

慶

骨

王莽時絕

浮丘侯不害

(武帝時封)

坐酎金免

杏山侯成

(武帝時封)

坐酎金免

楚安王子侯者凡二人

魯共王子侯者凡六人

廣戚侯將 (武帝)時封 坐酎金免

寧陽侯恬 (武帝)時封 慶恩 信 扈 方

瑕丘侯政 (武帝)時封 國 湯 奉義 遂成 禹

公丘侯順 (武帝)時封 置 延壽 賞 元 王莽時絕

郁根侯驕 (武帝)時封 坐酎金免

西昌侯敬 (武帝)時封 坐酎金免

江都易王子侯者凡五人

丹陽侯敢 (武帝)時封 亡後

盱台侯蒙蒙 (武帝)時封 坐酎金免

胡孰侯胥行 (武帝)時封 聖 犯罪免

秣陵侯纒 (武帝)時封 亡後

淮陵侯先國 (武帝)時封 坐酎金免

梁共王子侯者凡一人

張梁侯仁 (武帝)時封 順 為匈奴所殺

魯川懿王子侯者凡十三人

龍丘侯代 (武帝)時封 坐酎金免

劇原侯錯 (武帝)時封 廣昌 骨 吉囂 勝容

懷昌侯高遂 (武帝)時封 延年 時 可置

平望侯賞 (武帝)時封 楚人 光 起 均 旦

臨衆侯始昌 (武帝)時封 華生 廣平 農 理 賢 商

王莽時絕

葛魁侯寬 (武帝)時封 戚 坐縛家吏恐獨受賂棄市

益都侯胡 (武帝)時封 廣 嘉 坐非廣子免

平的侯強 (武帝時封) 中時 福 鼻 親 宣

劇魁侯黑 (武帝時封) 招 德 和 親 嬰 向

壽梁侯守 (武帝時封) 坐酎金免 帥軍 欽 宗 嘉

平度侯行 (武帝時封) 慶 忌 坐殺弟棄市

宜城侯偃 (武帝時封) 福 坐殺弟棄市 乘 賞 信 禕 本

臨胸侯奴 (武帝時封) 乘 賞 信 禕 本

(城陽) 共王子侯者凡十三人

霈侯豨 (武帝時封) 坐酎金免

東莞侯吉 (武帝時封) 坐病不任朝免

辟亡侯壯 (武帝時封) 明 坐酎金免

利鄉侯嬰 (武帝時封) 有罪免

有利侯釘 (武帝時封) 坐罪誅

東平侯慶 (武帝時封) 坐姦廢

運平侯記 (武帝時封) 坐酎金免

山州侯齒 (武帝時封) 坐酎金免

海常侯福 (武帝時封) 坐酎金免

騶丘侯寬 (武帝時封) 報德 母害 坐罪誅

南城侯貞 (武帝時封) 猛 尊 充國 遂 文 王莽時絕

廣陵侯襄 (武帝時封) 成 坐酎金免

杜原侯臯 (武帝時封) 坐酎金免

(趙) 敬肅王子侯者凡二十四人

尉侯丙 (武帝時封) 犢 坐酎金免

封斯侯胡傷 (武帝時封) 如意 宮 仁

榆丘侯受福 (武帝時封) 坐酎金免

襄侯建

武帝時封

坐酎金免

邠會侯仁

武帝時封

憲賀張康重蒼

朝節侯義

武帝時封

祿固城坐酎金免

東城侯道

武帝時封

為妾所殺無後

陰城侯蒼

武帝時封

嗣子有罪不得立

邠平侯順

武帝時封

坐酎金免

武始侯昌

武帝時封

三十四年嗣為趙王

烏氏侯賀

武帝時封

意千秋漢強鄴

易安侯平

武帝時封

種德坐殺人免

柏暢侯終古

武帝時封

朱

歆安侯延年

武帝時封

坐酎金免

漳北侯寬

武帝時封

為匈奴所殺

南繇侯佗

武帝時封

坐酎金免

南陵侯慶

武帝時封

坐為沛郡太守有罪下獄死

鄒侯舟

武帝時封

坐祝詛誅

安禮侯福

武帝時封

坐為常山太守祝詛死

爰戚侯當

武帝時封

坐謀反自殺

栗節侯樂

武帝時封

忠根况

交夷侯周舍

武帝時封

惠迺始勲承

獮侯起

武帝時封

充國廣明固鉅鹿

柳裴侯道

武帝時封

尊章景發

中山靖王子侯者凡二十人

廣望侯忠

武帝時封

中何齊遂閣

將梁侯朝平

武帝時封

坐酎金免

文天卷二百六

封侯考

六

新館侯未央

武帝時封

坐酎金免

陸城侯貞

武帝時封

坐酎金免

新處侯嘉

武帝時封

坐酎金免

陸地侯義

武帝時封

坐酎金免

臨樂侯光

武帝時封

建固萬年

廣都

王莽時絕

東野侯章

武帝時封

中時亡後

高平侯喜

武帝時封

坐酎金免

廣川侯頌

武帝時封

坐酎金免

東丘侯將夜

武帝時封

德外八坐罪死

高丘侯破胡

武帝時封

亡後

柳宿侯蓋

武帝時封

蘇坐酎金免

戎丘侯讓

武帝時封

坐酎金免

樊興侯脩

武帝時封

過倫

異衆

士生

自予

王莽時

絕

曲成侯萬

武帝時封

坐酎金免

安郭侯傳富

武帝時封

偃崇坐罪死

安儉侯應

武帝時封

坐酎金免

安道侯恢

武帝時封

坐酎金免

彭侯屈璽

武帝時封

為丞相坐祝詛要斬

廣川惠王子侯者六人

浦領侯嘉

武帝時封

有罪絕

西熊侯明

武帝時封

亡後

棗強侯晏

武帝時封

亡後

畢梁侯嬰

武帝時封

坐罪免

文獻卷三百六

封侯考

七

參駁侯則

武帝時封

坐酎金免

沂陵侯喜

武帝時封

坐酎金免

齊北貞王子侯者六人

陰安侯不害

武帝時封

秦客 亡後

營關侯騫

武帝時封

坐罪免

庸望侯何

武帝時封

當時 坐酎金免

陪侯則

武帝時封

邑

前侯信

武帝時封

坐酎金免

安陽侯樂

武帝時封

延年 記 戚 得 亡後

齊北式王子侯者五人

五據侯曜丘

武帝時封

坐酎金免

雷侯龍

武帝時封

坐罪免

平侯遂

武帝時封

坐罪免

羽康侯成

武帝時封

繫 棄 王莽時絕

胡毋侯楚

武帝時封

坐酎金免

代共王子侯者凡九人

離石侯縮

武帝時封

坐罪免

邵侯順

武帝時封

坐殺人免

利昌侯嘉

武帝時封

樂 萬世 光祿 殷 煥 王莽時

絕

蘭侯罷軍

武帝時封

坐罪免

臨河侯賢

武帝時封

坐酎金免

溫成侯忠

武帝時封

亡後

土軍侯郢

武帝時封

坐酎金免

漢書卷一百六

封爵

七

皇琅侯遷

武帝時封

亡後

干章侯遇

武帝時封

坐酎金免

齊孝王子侯者十一人

博陽侯就

武帝時封

終古 坐酎金免

被陽侯燕

武帝時封

偃 壽 定 閔 廣 王莽時絕

定侯越

武帝時封

德 福 湯 乘 王莽時絕

稻侯定

武帝時封

陽都 咸 閔 永 王莽時絕

山原侯國

武帝時封

棄 守 發 外人

繁安侯忠

武帝時封

守 壽 漢 嘉 光 起

柳侯陽已

武帝時封

罷師 自為 攜 軻 守

雲侯信

武帝時封

茂發 遂 終古 得之 王莽時絕

牟平侯滌

武帝時封

奴 更生 肆 訖 威 隆 王莽

時絕

柴侯代

武帝時封

勝之 賢 齊 莫如 亡後

高樂康侯更名其各

武帝時封

亡後

橋山賜王子侯者一人

終弋侯廣置

武帝時封

坐酎金免

城陽頃王子侯者二十人

麥侯昌

武帝時封

坐酎金免

鉅合侯發

武帝時封

坐酎金免

昌侯羗

武帝時封

坐酎金免

賈侯方

武帝時封

坐酎金免

季葭侯澤

武帝時封

舞 閣

原洛侯取

武帝時封

坐殺人棄市

文帝二年

封侯

挾術侯昆景 (武帝時封) 亡後

挾侯霸 (武帝時封) 戚賢 恩 哀 亡後

劫侯讓 (武帝時封) 興

文成侯光 (武帝時封) 坐酎金免

校清侯雲 (武帝時封) 坐酎金免

庸侯餘 (武帝時封) 有罪死

翟侯壽 (武帝時封) 坐酎金免

鰓侯應 (武帝時封) 坐酎金免

彭侯強 (武帝時封) 坐酎金免

輒侯息 (武帝時封) 守 王莽時絕

盧水侯禹 (武帝時封) 爵 敞 王莽時絕

東淮侯類 (武帝時封) 坐酎金免

柏侯買 (武帝時封) 坐酎金免

涪侯不疑 (武帝時封) 坐酎金免

菑川靖王子侯者四人 (武帝時封) 賈 楚壽 坐罪死

陸侯何 (武帝時封) 賈 楚壽 坐罪死

廣饒侯國 (武帝時封) 坊 麟 融 閔 王莽時絕

餅侯成 (武帝時封) 龍 融 閔 王莽時絕

俞閭侯母害 (武帝時封) 况 麟 亡後

廣川繆王子侯者九人 (武帝時封) 坐殺人棄市

甘井侯光 (武帝時封) 坐殺人棄市

襄隄侯聖 (武帝時封) 坐酎金斤八兩少四兩免

新市侯吉 (昭帝時封) 義 欽

東襄侯寬 (宣帝時封) 使親 亡後

樂信侯強

宣帝時封

何賀波

昌成侯元

宣帝時封

齒應江無後

歷鄉侯必勝

宣帝時封

長壽宮東之

武陶侯朝

宣帝時封

弘勲京

桃侯良

元帝時封

敬狗

膠東康王子侯者三人

皐震侯寔

武帝時封

定哀勲顯樂王莽時絕

魏其侯昌

武帝時封

傅光禹嶠嘉王莽時絕

祝茲侯延年

武帝時封

坐棄印綬出國免

六安共王子侯者一人

松滋侯霸

昭帝時封

始總均王莽時絕

膠東哀王子侯者一人

溫水侯安國

昭帝時封

坐上書妖言免

魯安王子侯者三人

蘭旗侯臨朝

昭帝時封

去疾嘉位

容立侯方山

昭帝時封

未央昭

良成侯文德

昭帝時封

舜原元閔

清河剛王子侯者六人

蒲領侯祿

昭帝時封

推不識京

南曲侯遷

昭帝時封

江尊

東昌侯成

宣帝時封

親霸祖

新鄉侯豹

宣帝時封

步可尊

脩故侯福

宣帝時封

坐匿羣盜棄市

東陽侯弘

宣帝時封

縱姪始封親伯造

長沙項王子侯者四人

高城侯梁 (昭帝時封) 景 請士 馮

復陽侯延年 (宣帝時封) 漢 道

鍾武侯度 (宣帝時封) 宣 霸 無後

高成侯梁 (宣帝時封) 景 諸士 馮

(中山康王子侯者二人)

成侯喜 (昭帝時封) 得苑 備 貴

宣慶侯章 宣帝時封 衆

(城陽慧王子侯者二人)

江陽侯仁 (昭帝時封) 坐罪免

高鄉侯休 (宣帝時封) 興 革如

(廣陵厲王子侯者三人)

朝陽侯勝 (宣帝時封) 廣德 安國

平曲侯魯 (宣帝時封) 臨 農

南利侯昌 (宣帝時封) 坐賊殺人免

(燕刺王子侯者二人)

安定侯賢 (宣帝時封) 延年 昱

新昌侯 (宣帝時封) 稱 未央

(趙頃王子侯者四人)

邯溝侯偃 (宣帝時封) 勝 度 定

樂陽侯說 (宣帝時封) 宗 崇 鎮

桑中侯廣漢 (宣帝時封) 縱 敬

張侯嵩 (宣帝時封) 坐罪廢

(膠東戴王子侯者四人)

膠東戴王子侯者四人

樂望侯光 宣帝時封 林起

成康侯饒 宣帝時封 新

柳泉侯強 宣帝時封 建 萬年 永昌

新刊侯偃 宣帝時封 坐罪免

六安夷王子侯者一人

宣陽侯賜 宣帝時封 坐罪免

平王項王子侯者九人

曲梁侯敬 軍帝時封 時光 瓠辯

廣鄉侯明 宣帝時封 安 周齊 充國

成鄉侯慶 宣帝時封 霸 果

平利侯世 宣帝時封 嘉 禹 旦

平陽侯任 宣帝時封 成 陽

平纂侯果 宣帝時封 亡後

成陵侯充 宣帝時封 坐罪免

陽城侯用 宣帝時封 賢 說 報

柰陽侯仁 宣帝時封 坐罪免

真定列王子侯者一人

遷鄉侯宣 宣帝時封 亡後

廣川戴王子侯者一人

西梁侯闢兵 宣帝時封 廣 宮 敞

河間孝王子侯者六人

陽興侯昌 宣帝時封 坐罪誅

廣昌侯賀 成帝時封

都安侯普 成帝時封 胥

樂平侯求 (成帝時封)

宜禾侯得 (哀帝時封) 恢

富春侯玄 (哀帝時封)

(中山) 王子侯者一人

和陽侯安 (宣帝時封) 遂 固

(魯孝王子侯者八人)

昌慮侯弘 (宣帝時封) 奉世 盖

平邑侯敞 (宣帝時封) 坐殺人棄市

山鄉侯綰 (宣帝時封) 立

建陵侯遂 (宣帝時封) 魯 連文

合陽侯平 (宣帝時封) 安上

東安侯強 (宣帝時封) 拔

承鄉侯當 (宣帝時封) 坐罪免

建陽侯咸 (宣帝時封) 霸 並

(城陽荒王子侯者十四人)

茲鄉侯弘 (宣帝時封) 昌 應 宇

籍鄉侯顯 (宣帝時封) 坐罪免

都平侯丘 (宣帝時封) 訢 堪

襄原侯山 (宣帝時封) 蒚 妾得

箕侯文 (宣帝時封) 隣 褒

高廣侯勳 (宣帝時封) 賀 福 吳

即來侯俊 (宣帝時封) 欽

庸登侯談 (元帝時封) 端 坐罪免

崑山侯光 (元帝時封) 儀

折泉侯根 (元帝)時封 詡

博石侯淵 (元帝)時封 獲

要安侯勝 (元帝)時封 守

房山侯勇 (元帝)時封

式侯憲 (元帝)時封 霸 萌

(高密)哀王子侯者一人

膠鄉侯漢 (成帝)時封

(長沙)孝王子侯者三人

安平侯習 (元帝)時封 嘉

陽山侯宗 (元帝)時封 買 奴

湘鄉侯昌 (哀帝)時封

(廣陽)頃王子侯者四人

臨鄉侯雲 (元帝)時封 交

西鄉侯容 (元帝)時封 景

陽鄉侯發 (元帝)時封 夔

益昌侯嬰 (元帝)時封 政 福

(膠東)頃王子侯者十人

羊石侯回 (元帝)時封 成 順

石鄉侯理 (元帝)時封 建 國

新城侯根 (元帝)時封 霸

上鄉侯欽 (元帝)時封

昌鄉侯憲 (元帝)時封 坐 罪 免

順陽侯共 (成帝)時封

樂陽侯獲 (成帝)時封

平城侯邑 (成帝時封) 珍理

密鄉侯林 (成帝時封) 欽敬

樂都侯訢 (成帝時封) 臨延年

(泗水) 勤王子侯者二人

千鄉侯定 (元帝時封) 聖

就鄉侯璋 (元帝時封) 亡後

(城陽) 戴王子侯者四人

石山侯玄 (元帝時封) 嘉

都陽侯音 (元帝時封) 閑

叅封侯嗣 (元帝時封) 殷

伊鄉侯遷 (元帝時封) 亡後

(梁) 敬王子侯者十四人

貫鄉侯平 (元帝時封) 病狂自殺

樂侯義 (元帝時封) 坐罪免

中鄉侯延年 (元帝時封)

鄭侯罷軍 (元帝時封) 駿良

黃侯順 (元帝時封) 申亡後

平樂侯遷 (元帝時封) 寶

菑鄉侯就 (元帝時封) 逢喜

東鄉侯方 (元帝時封) 護

陵鄉侯訢 (元帝時封) 坐罪免

深陽侯欽 (元帝時封) 畢

登鄉侯固 (元帝時封)

高柴侯發 (元帝時封)

臨都侯未央 (元帝時封) 息

高侯舜 (元帝時封) 始 便肖

菑川孝王子侯者四人

北鄉侯譚 (元帝時封)

廣侯便 (元帝時封) 護 宇

平侯服 (元帝時封) 嘉

臺鄉侯珍 (元帝時封)

廣陵孝王子侯者二人

蘭陵侯宜 (元帝時封) 譚 便強

廣甲侯德 (元帝時封) 德

六安繆王子侯者一人

博鄉侯交 (元帝時封) 就

楚哀王子侯者二人

桓鄉侯買 (元帝時封) 雲 譚

安鄉侯喜 (元帝時封) 胡 合衆

高密項王子侯者六人

平梁侯都 (成帝時封)

膠東侯德 (成帝時封)

武鄉侯慶 (成帝時封) 勁

成鄉侯安 (成帝時封) 德

麗茲侯賜 (成帝時封) 放

安立侯常 (成帝時封)

楚孝王子侯者二人

廣成侯勳 (成帝時封) 顯 嬰 君攝元年為孺子 王莽篡

位為定安公 莽敗死

陰平侯回 (成帝時封) 詩

(淮陽憲王子侯者一人 孫侯者三人)

樂平侯訢 (成帝時封) 坐狂易免

外黃侯圍 (成帝時封)

高陽侯並 (成帝時封)

平陸侯寵 (成帝時封)

(魯頃王子侯者三人)

郃鄉侯閔 (成帝時封) 延

建鄉侯康 (成帝時封) 自當

新陽侯永 (成帝時封) 級

(東平思王子侯者五人 孫侯者十七人)

栗鄉侯護 (成帝時封) 玄成

桑丘侯頃 (成帝時封)

桃鄉侯宣 (成帝時封) 立

富陽侯萌 (成帝時封)

西陽侯並 (成帝時封) 偃

金鄉侯不害 (成帝時封)

平通侯旦 (成帝時封)

西安侯漢 (成帝時封)

湖鄉侯開 (成帝時封)

重鄉侯少伯 (成帝時封)

陽興侯寄生 (成帝時封)

陵陽侯嘉 (成帝時封)

高樂侯修 (成帝時封)

平邑侯閔 (成帝時封)

平慕侯况 (成帝時封)

合昌侯輔 (成帝時封)

伊鄉侯開 (成帝時封)

就鄉侯不害 (成帝時封)

膠鄉侯武 (成帝時封)

宜鄉侯恢 (成帝時封)

昌城侯豐 (成帝時封)

樂安侯禹 (成帝時封)

(膠東若王子侯者四人)

陵石侯慶 (成帝時封)

臨安侯閔 (成帝時封)

徐鄉侯煥 (成帝時封) 王莽建國元年坐舉兵欲誅莽死

堂鄉侯恢 (成帝時封) 亡後

梁夷王子侯者一人

邢鄉侯賢 (成帝時封) 富

梁荒王子侯者一人

曲鄉侯鳳 (成帝時封)

(城陽) 孝王子侯者一人

桃山侯欽 (成帝時封)

(泗水) 侯王子侯者一人

昌陽侯霸 (成帝時封)

(趙) 共王子侯者五人

安國侯吉 (成帝)時封

梁鄉侯交 (成帝)時封

襄鄉侯福 (成帝)時封 章

容鄉侯強 (成帝)時封 弘

緇鄉侯固 (成帝)時封

(黃陽)思王子侯者三人

方鄉侯常得 (成帝)時封

廣成侯建 (平帝)時封

當陽侯益 (平帝)時封

(六安)頃王子侯者一人

庸鄉侯宰 (成帝)時封

(河間)惠王子侯者一人

南昌侯禹

(哀帝)時封

(東平)賜王子侯者七人

嚴鄉侯信 (哀帝)時封 後坐罪免

天子兵敗死 王莽時翟義舉兵立信為

武平侯璜 (哀帝)時封 坐罪免 翟義舉兵敗死

陶鄉侯恢 (平帝)時封

釐鄉侯褒 (平帝)時封

昌鄉侯且 (平帝)時封

新鄉侯認 (平帝)時封

春城侯允 (平帝)時封

(楚)思王子侯者十八人

陵鄉侯曾 (哀帝)時封 後坐舉兵欲誅王莽死

武受侯受 (哀帝) 時封 坐罪免

郿鄉侯光 (平帝) 時封

新城侯武 (平帝) 時封

宜陵侯置 (平帝) 時封

堂鄉侯護 (平帝) 時封

成陵侯由 (平帝) 時封

成陽侯焮 (平帝) 時封

復昌侯休 (平帝) 時封

安陸侯平 (平帝) 時封

梧安侯譽 (平帝) 時封

朝鄉侯充 (平帝) 時封

扶鄉侯音 (平帝) 時封

呂鄉侯尚 (平帝) 時封

李鄉侯毅 (平帝) 時封

宛鄉侯隆 (平帝) 時封

壽泉侯承 (平帝) 時封

杏山侯遵 (平帝) 時封

(廣陵) 繆王子侯者二人

方樂侯嘉 (哀帝) 時封

方城侯宣 (平帝) 時封

(河間) 孝王子侯者二人

宜禾侯得 (哀帝) 時封

富春侯賢 (哀帝) 時封

(長沙) 刺王子侯者二人

漢書卷一百一十五

封侯考

十一

昭陽侯賞 (平帝)時封

承陽侯景 (平帝)時封

(真定)共王子侯者一人

信昌侯廣 (平帝)時封

(武帝)元朔二年主父偃說上曰古者諸侯地不過百里強弱之形易制今諸侯或連城數十地方千里緩則驕奢易為淫亂急則阻其強而合從以逆京師今以法割削則逆節萌起前日朝錯是也今諸侯子弟或十數而嫡嗣代立餘雖骨肉無尺地之封則仁孝之道不宣願陛下令諸侯得推恩分子弟以地侯之彼人人喜得所願上以德施實分其國必稍自銷弱矣於是上從其計乃制詔御史諸侯王或欲推私恩分子弟邑者令各條上朕且臨定其號名自是文廢畢侯矣

光公曰主父偃之說即賈誼最建諸侯之遺意也然最建則自上令而行之為儉為吝推恩則本下情而行之為恕為仁且其事勢之難易德意之廣狹君然不同豈可以人廢言哉
班固表序曰孝元之世亡王子侯者盛衰終始豈非命哉元始之際王莽攝朝偽褒宗室侯及王之孫焉
師古曰王之孫亦得封侯謂承鄉侯閔以
下是 居攝而愈多非其正故弗錄旋踵亦絕悲夫

文獻通考卷之二百六十七

鄱陽 馬 端臨 貴與 著

封建考

前漢功臣侯

平陽懿侯曹參 以中涓從起沛至霸上侯以將軍入漢以假左丞

宏 建武初以舉 曠 女左軍紹封 空 奇 時 襄 宗 喜 世 本始 九

信武肅侯斬欽 以中涓從起宛入漢以騎都尉定三秦擊項

亭 生軍國人過律免師 安漢 六世漢家孟康曰諸葛家

汝陰文侯夏侯嬰 及全皇太子魯元公主侯六千九百戶 竈

賜 頗坐殺 信 復家

清河定侯王吸 以中涓從起豐至霸上為騎郎將入 疆 仇 不

文獻通考卷之二百六十七

害 克國

陽凌景侯傳寬以舍人從起黃陽至霸上為騎將入漢定三清

明 偃王謀與淮南景六世孫

廣嚴侯召歐將中涓從起沛至霸上為連敖入漢以勝嘉

廣平敬侯薛歐以舍人從起豐至霸上為郎入漢以山澤

穰坐罪去病復家

博陽嚴侯陳淠以舍人從賜以刺客將入漢始坐謀殺壽復家塞

堂邑安侯陳嬰初起兵屬楚後屬漢侯祿 午 季須坐罪尊六

曲逆獻侯陳平以故楚都尉歸漢為護軍買 惺 何坐畧人鳳

留文成侯良以孫將從起下邳入武關設策降秦不疑坐門

射陽侯劉經初起兵與項羽有隙伯解之後降漢封侯唯有罪不

彭文終侯蕭何給軍食佐定漢為丞相守蜀及關中祿亡何少

封 遺亡則以何孫嘉則勝坐罪慶何壽成建世何

封 紹免輔獲尊七章王莽

絳武侯周勃定中涓從起沛至霸上侯定三秦食邑為將軍入漢

勝之坐罪亞大紹封條侯堅以勃子紹建德金廣漢復家共孫

千戶

舞陽武侯樊噲以舍人起沛從至霸上為侯以郎入漢定三秦為

仇坐罪市人紹封 它廣坐罪勝客復家章元紹封千戶

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

封 封

曲周景侯鄒高以將軍從起破長谷以商定寄免罪堅遂成

世宗 終根誅生罪猛元始時賜

顯陰懿侯灌嬰以中涓從起破至關上入漢定三秦以將軍何

強有罪賢以嬰孫紹封匿齊孫元始時賜

汾陰悼侯周昌以職志擊秦入漢如淳曰職志官名王獲職開方

意坐罪左車陽侯後坐罪免明復家

梁鄒孝侯武虎以謂者從破入漢定三秦以將軍最嬰齊 山

附坐罪充子復家

成敬侯董謀以舍人從擊秦入漢定三秦出關赤復封節氏罷軍

朝坐罪為誣復家

蓼夷侯孔聚將軍三以都尉擊項籍屬韓信侯宣復家

貴侯陳賀以舍人從起破入漢定三秦最 偃坐罪僑復家

陽夏侯陳豨以將軍從起破入漢定三秦

隆慮克侯竈籍侯連敖入漢擊項通免罪詔復家

陽都敬侯丁復破龍且項籍侯七千八百戶寧 安城有罪

賜復家

陽信侯呂青以漢五年用令尹初臣義 它 善 談坐耐

東武貞侯郭蒙以戶衛起薛破秦軍入漢定三它有罪廣漢復家

什防肅侯雍齒以趙將從定諸侯二千五百戶鉅鹿 野 栢耐

免章復家

棘蒲剛侯陳武以將軍從起薛奇誅嘉復家

都昌嚴侯朱軫以舍人從起沛率 誣 偃 辟強後先復家

武彊嚴侯嚴不識以舍人從起沛入漢擊嬰 青翟湯事自投

武彊卷一百六十二

仁魯孫復家
貫齊侯合傳胡害以越戶將從破秦入漢定方山 赤遺猜

坐殺人世復家
海陽齊信侯挫母餘以越隊將從破秦入漢定昭襄 建省後

不更復家
南安嚴侯宣虎以河南將軍降晉陽 戎 千秋坐罪免 護魯孫復家

肥如敬侯蔡寅龍且及彭城侯千戶破 戎 奴後 福魯孫復家 宣孫

曲成圍侯蟲達定以西城戶將從起場入漢捷 皇柔坐罪論 宣孫

河陽嚴侯陳洧擊項籍定齊侯信坐罪免 元復家
淮陰侯韓信卒從項氏後歸為大將軍定魏趙齊封

芒侯彤跖以門刺起場入漢定昭 申坐罪免
敬市侯閻澤擊項籍從入漢無害 續殺金免 章世復家 角坐罪免 先生

魏其嚴侯周止秦破項羽東城侯千戶三 簡謀反誅 廣世復家

平悼侯工師喜定以舍人從破秦入漢奴 執坐罪免

魯侯奚涓將軍定諸侯封四千八百戶母 底

城父嚴侯尹恢定以諸侯封二千戶開 方奪爵為侯復家

任侯張越以騎都尉從擊燕代後坐罪免 容坐罪免 延居紹封則金免 賢

棘丘侯襄以執盾從起破秦後坐罪免 容坐罪免 延居紹封則金免 賢

河陵頃侯郭亭三秦擊項羽功臣歐 容坐罪免 延居紹封則金免 賢

昌武靖信侯單究以舍人從漢入定三 如意 賈成 德坐殺人

文獻卷二百六十二

萬玄孫之

高宛制侯丙猜以客從入漢定三秦破項籍侯千六百伍戶得武信免坐罪齒之孫

宣由齊侯丁義以卒從入漢定三秦破項籍侯六百七十戶通免坐罪年曾孫

終陵齊侯垂母害以越將從入漢定三秦破項籍侯七百四十戶勃免坐罪告曾孫

東茅敬侯劉到以舍人從起項籍封千戶告免坐罪咸曾孫

斥丘懿侯唐厲以舍人從起項籍破之侯千戶朝免坐罪尊金坐罪唐意曾孫

臺定侯戴野以舍人從起項籍封千戶安昌免坐罪唐意曾孫

安國武侯王陵起兵定南陽屬漢王忌免坐罪存免坐罪辟方免坐罪定金坐罪襄

樂成節侯丁禮以中涓從起項籍封千戶馬從免坐罪吾客免坐罪義坐罪

禹七世碑陽幽侯審食其以舍人從起項籍封千戶非曾孫

剛成制侯周緜以舍人從起項籍封千戶昌免坐罪應昌弟

君坐罪禹曾孫安平敬侯鄂秋以調者從定諸侯功嘉免坐罪應寄但坐罪

北平文侯張蒼以客從至霸上得奉免坐罪類免坐罪蓋宗六世

高胡侯陳夫乞以卒從擊項籍封千戶程免坐罪勝之孫

厭次侯爰類以將從入漢封千戶嗣免坐罪世六世

平皇煬侯劉宅以賜姓侯五百八十戶嘉免坐罪強免坐罪幸曾孫

復陽剛侯陳胥以中涓從入漢封千戶安國免坐罪午免坐罪章免坐罪仁誼誅益壽

陽河齊侯其石以中涓從入漢封千戶安國免坐罪午免坐罪章免坐罪仁誼誅益壽

柏至靖侯許益以騎軍從說衛入祿免坐罪昌免坐罪安和免坐罪福鬼薪建

六世

復家

復家

復家

復家

復家

復家

復家

復家

復家

復家

復家

六世 復家

中水嚴侯呂馬童以即騎將從擊龍且瑕青眉德宜城耐

金建明七世 復家杜衍嚴侯王翥以中郎騎從斬項福市臣舍有罪安樂曾孫

赤泉嚴侯楊喜籍侯千九百戶敷母害免坐罪孟嘗復家

朝陽齊侯華寄籍侯千九百戶要當免坐罪定國復家

棘陽嚴侯杜得臣籍侯千九百戶但武免坐罪

涅陽嚴侯呂騰籍侯千九百戶成實非子不忠六世

平棘懿侯林摯置侯千九百戶辟疆有罪常驩復家

深澤齊侯趙將夕齊趙齊楚侯七百戶脩免史紹封延世

去孫 復家 尊項侯溫齊以燕將軍從破曹公告仁何福女孫

歷簡侯程黑以燕將軍從破曹公竈免弘六世

武原靖侯衛胙籍侯千九百戶不害免堯復家

稟祖侯陳錯功侯千九百戶嬰應安千秋免坐罪廼復家

宋子惠侯許惲封侯千九百戶留九免坐罪廼復家

猗氏敬侯陳邈項侯千九百戶支羗免坐罪胡復家

清簡侯室中同項侯千九百戶聖耐古生免坐罪武復家

疆圉侯留盼擊侯千九百戶章復免坐罪定復家

彭簡侯秦同項侯千九百戶執武免坐罪壽復家

吳考嚴侯楊武斬侯千九百戶去疾免談復家

甯嚴侯魏邀以舍人從連指免坐罪都復家

昌圍侯呂卿項侯千九百戶通光免坐罪復家

共嚴侯旅罷師韓王信封千二百戶黨高免坐罪信復家

閻氏節侯馮解散以代主爵降為馬門宅後遺子嗣勝之平

安立懿侯張說項羽定代侯二十入漢擊奴執新拾坐罪

襄平侯紀通父城以將軍從破秦入相夫夷吾後萬年復家

龍陽敬侯陳署籍斬曹公侯千戶堅有罪

平嚴侯張瞻師侯封千五百戶寄安國為人敏復家

陸量侯項無詔以為列侯自置桑慶忌母坐爵聖復家

高景侯周成項籍死事子封侯後謀反誅繩紹以孫平坐罪賜孫

離侯鄧弱侯以長沙將軍重後

義陵侯吳郢侯以長沙將軍重後

黃孫以弟昌免罪後昌侯安國強亡宣復家

東陽武侯張相如侯以河間守擊陳安國強亡宣復家

慎陽侯樂說告信侯二千人願買之坐鑄白通復家

開封愍侯陶舍侯以右司馬從擊青偃睢免元復家

禾成孝侯公孫昔侯以卒從為擊陳漸後廣意復家

堂陽哀侯孫赤侯以中涓從起沛入漢擊德有罪明復家

祝阿孝侯高色侯以客從入漢擊魏破項成弘復家

長脩平侯杜恬侯以御史從出關擊諸中意相夫封後坐罪

江邑侯趙堯侯以御史為趙相擊陳孫封

營陵侯劉澤侯以郎中擊項籍陳孫封

文獻卷之百六十二

土軍式侯宣義為中地守以廷尉擊莫如平生免坐罪寄

廣阿懿侯任敖陳以客從起沛擊項籍敬但越人免坐罪定

須昌貞侯趙衍以謂者從擊陳翁福不害免坐罪步昌

臨轄堅侯戚尉為即守斬以中觸龍中賢金坐耐常

汲紹侯公上不害為太僕擊代翁武通廣德誅坐罪常

甯陵夷侯呂臣以舍人從入漢破曹謝始得復家

汾陽嚴侯斬強以即中騎從擊項解胡右封免坐罪忠

戴敬侯秘彭祖以卒從起沛擊陳惲安國軫蒙誅坐祝政

衍簡侯程旸為燕令以都尉下楚九山嘉不疑免坐罪光

平州共侯昭涉掉尾以燕相從擊項籍種它人馬童昧坐罪

免福復家中牟共侯筆右軍以卒從沛入漢高祖得封侯終根舜

克國六世復家印嚴侯黃極忠以群盜長為臨江將為漢榮成明遂免坐罪調

傅陽節侯周聚以卒從豐入漢擊漱免坐罪萬年復家

陽羨定侯靈常以荆令戶從擊鍾離昧賀勝後復家橫復家

下相嚴侯冷耳以客從起沛入漢堅守順誅反安復家

高陵圉侯王虞以項籍侯九百戶弄弓行坐謀

期思康侯賁赫以告南王英布中大夫亡後充復家

戚園侯季必以騎都尉從擊項籍破齊長瑕信成免坐罪買之

復家玄孫穀陽定侯馮谿以卒從擊項籍熊卯解中偃後武復家

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

復家玄孫

嚴敬侯許猜以楚將降擊項羽恢則周廣宗坐耐任壽六

成陽侯奚意以魏郎從屬彭越信有罪通復象自為益壽六世

挑安侯劉襄擊布侯千戶舍由自為益壽六世

高粱共侯酈玘父食其以客從約和勃平坐罪賜復家

紀信臣侯陳倉籍攻盧縮侯七百戶開煬誅反千秋復家

景嚴侯王競以車司馬從屬真粘免有罪昌復家

張節侯毛釋之以中涓從起豐入漢鹿舜免坐罪景復家

黃棗端侯革朱侯功封九百戶式昌免坐罪奉復家

偽陵嚴侯朱濞籍滅荼侯二千七百戶慶言免坐罪復家

右(高祖)百四十七人周呂建成二人在外戚羨頡舍合陽沛德

便頃侯吳淺功侯二千戶信廣志千秋坐耐編復家

軟侯黎朱蒼侯以長沙相狶彭祖扶免坐罪漢復家

平都孝侯劉到以齊將定齊成免坐罪如意復家

右(孝惠)三人

南宮侯張買將以父越人為高祖騎生免坐罪

梧齊侯陽城延樂未央築長安城侯五百戶去疾偃戎奴坐

市人棄注六世復家

平定敬侯齊受以卒從擊項籍市人應延居昌免坐罪安德復家

傅成敬侯馮無擇以呂澤郎中從高祖起豐代氏誅

沅陵頃侯吳陽以父長沙福周亡後

中邑貞侯朱進以執子從入漢破悼免坐罪

文帝卷二百六十七

樂平簡侯衛母擇

以隊率從起沛擊陳餘侯六百戶

勝

後坐罪免

山都貞侯王恬啓

陳餘侯六百戶

中黃

觸龍

當坐罪免

祝茲夷侯徐厲

以舍人從沛入漢得雍王家屬用常山丞相侯

惇

偃有罪免

成陰侯周信

以卒從為呂后舍人

勃

有罪免

俞侯呂它

父嬰以連敖從高祖破秦入漢定諸侯死事子侯

誅

醴陵侯越

長以卒從擊項羽用

右高后

十二人扶柳襄城軹壺關昌平贅其騰昌勝祝茲建

陵十一人在恩澤外戚浚沛信都樂昌東平五人隨父上邳

朱虛東牟三人在王子三十一人

陽信夷侯劉揭

為典客奪呂祿印閉殿門

中意

有罪免

壯武侯朱昌

以家吏從高祖起山東為代中尉勸帝乘入即位千四百戶

孝景中四年有罪奪爵為關內侯

樊侯蔡兼

北地用常山相侯千二百戶

客子平

辟方免坐罪

汜陵康侯魏泗

君侯

亡後

南郎侯起

以信平君侯

坐罪削爵為關內侯

黎頃侯召奴

父齊相侯

潰

延坐罪誅

餅侯孫單

父印以北地都尉死事

後坐反誅

弓高壯侯韓隤

故相韓王子以匈

則

亡誅以都尉擊匈奴得王封龍頌侯後坐耐金免

襄城哀侯韓嬰

故相王信太子以匈

釋

之坐罪免

故安節侯申屠嘉

文從高祖功食邑五百

共

吏坐罪免

右孝文

十人軹鄒周陽三人在外戚管氏營丘營平陽虛陽

丘勃安都平昌武成白石阜陵安陽周東城十四人在王子

九二十七人

俞侯樂布以將軍吳楚反擊齊侯賁坐罪免

建陵哀侯衛綰以將軍擊吳楚信坐爵金免

建平敬侯程嘉以將軍擊吳楚橫回亡

平曲侯公孫渾邪以將軍擊吳楚後有罪免 賀以擊匈奴復侯為丞相坐子罪

江陽康侯蘇息以將軍擊吳楚盧明 雕坐爵金免

邊侯橫史失其姓父建德以趙相不聽王

新市侯王棄之父悍以趙內史王遂始昌為人所殺賊

商陵侯趙周父夷吾以楚太傅王後為丞相坐罪自殺

山陽侯張當君父尚以楚相王後坐罪免

安陵侯干軍以將軍擊吳楚亡後

栢侯賜以將軍擊吳楚史不言所終

道侯陸強以將軍擊吳楚則坐罪誅

容城馮侯徐盪以將軍擊吳楚光坐罪誅

易侯僕黔以將軍擊吳楚亡後

范陽靖侯范代以將軍擊吳楚亡後政孫賜

翁侯邴邴以將軍擊吳楚坐罪免

亞谷簡侯盧它以將軍擊吳楚種坐罪誅

塞侯直不疑以將軍擊吳楚相如坐罪免

右孝景十八人平陸休沉猷 宛胸棘樂乘氏栢邑八人在

王子魏其蓋二人在外戚隆慮一人隨父九二十九人

翁侯趙信以將軍擊吳楚後兵敗降匈奴

特轅侯樂以將軍擊吳楚亡後

親陽侯月氏以將軍擊吳楚後坐謀反誅

若陽侯猛以匈奴降侯後坐謀反誅

平陵侯蘇建匈奴封九千戶後坐敗師免

岸頭侯張次公匈奴封九千戶後坐罪免

涉安侯於單匈奴封九千戶後坐罪免

昌武侯趙安稽匈奴封九千戶後坐罪免

襄城侯桀龍匈奴封九千戶後坐罪免

安樂侯李蔡匈奴封九千戶後坐罪免

合騎侯公孫敖匈奴封九千戶後坐出軍後

期免

軹侯李朔匈奴封九千戶後坐罪免

從平侯公孫戎匈奴封九千戶後坐罪免

隨成侯趙不虞匈奴封九千戶後坐罪免

博望侯張騫匈奴封九千戶後坐出軍畏懦免

衆利侯郝賢匈奴封九千戶後坐罪免

潦倬侯王接匈奴封九千戶後坐罪免

從票侯趙破奴匈奴封九千戶後坐耐金免

宜冠侯高不識匈奴封九千戶後坐罪免

輝渠忠侯僕朋匈奴封九千戶後坐罪免

下摩侯譚壽厄匈奴封九千戶後坐罪免

濕陰定侯昆邪匈奴封九千戶後坐罪免

輝渠偵侯應元匈奴封九千戶後坐罪免

河蕞康侯烏黎匈奴封九千戶後坐罪免

常樂侯稠雕匈奴封九千戶後坐罪免

邠離侯路博德匈奴封九千戶後坐罪免

義陽侯衛山以地都尉從擊坐罪死

社侯復陸支以匈奴歸義從擊偃耆宣平福坐罪

衆利侯伊即軒以匈奴歸義從擊當時輔宗後

湘成侯敞屠洛以匈奴歸義從擊坐酎金免

散侯董舍吾以匈奴歸義從擊安漢賢坐罪

臧馬康侯雕延年以匈奴歸義從擊亡後

臧侯次公以匈奴歸義從擊坐酎金免

衍侯建德以匈奴歸義從擊坐罪誅

龍侯穆廣德以匈奴歸義從擊坐酎金免

成安侯韓延年以匈奴歸義從擊坐酎金免

昆侯渠復以匈奴歸義從擊乃始崇詩紹

梁期侯任以匈奴歸義從擊當千崇

臧侯畢取以匈奴歸義從擊奉義誅

將梁侯楊僕以匈奴歸義從擊坐罪免

安道侯揭陽定以匈奴歸義從擊當時殺入

隨桃頃侯趙光以匈奴歸義從擊昌樂嗣子有罪

湘成侯監居翁以匈奴歸義從擊益昌誅

海常嚴侯蘇弘以匈奴歸義從擊亡後

外石侯吳陽以匈奴歸義從擊首誅

下邳侯左將黃同以匈奴歸義從擊奉漢誅

繚綏侯劉福以匈奴歸義從擊坐罪免

薊兒嚴侯轅終古以匈奴歸義從擊亡後

開陵侯建成以匈奴歸義從擊祿誅

臨蔡侯孫都

以南粵即得粵

襄坐罪

東城侯居股

以故東粵王斬東

坐謀反誅

無錫侯多軍

至東軍降侯千戶

邠坐罪

涉都侯喜

邑父粵南海守漢兵至以越

亡後

平州侯王啖

千以朝解將降漢侯

亡後

狄直侯韓陶

以朝解將降漢侯

不得嗣

灑清侯祭

相降侯千戶

坐罪死

駸茲侯稽谷

以朝解將降漢侯

亡後

浩侯王恢

以朝解將降漢侯

坐罪免

輒譟侯杆者

以朝解將降漢侯

勝不得

幾侯張路

以朝解將降漢侯

坐罪死

涅陽康侯最

以朝解將降漢侯

亡後

海西侯李廣利

以朝解將降漢侯

後兵敗降匈奴

新時侯趙弟

以朝解將降漢侯

坐罪免

承父侯續相如

以朝解將降漢侯

坐罪誅

開陵侯成婉

以朝解將降漢侯

褒

柁侯商立成

以朝解將降漢侯

坐罪自殺

重合侯莽通

以朝解將降漢侯

後坐謀反誅

德侯景建

以朝解將降漢侯

後坐謀反誅

題侯張富昌

以朝解將降漢侯

後為人所殺

邠侯李壽

以朝解將降漢侯

後坐罪誅

轅陽侯江喜

以朝解將降漢侯

仁坐罪

當塗康侯魏不害

以朝解將降漢侯

聖

蒲侯蘇昌

以朝解將降漢侯

揚

夷吾

坐罪

堅居

王莽

賊絕

絕

丞父侯孫王

以告反者太原白義等侯千一百五十戶

後坐罪免

右(孝武)七十五人武安周陽長平冠軍平津周子南樂通牧

立富民九人在外戚恩澤南齊龍頰宜春陰安發千五人隨

父九八十九人王子不在其中

絕 柁敬侯金日磾

以駙馬都尉發覺莽何羅反侯二千三百三十戶

賞後當侯千戶王莽賊

建平敬侯杜延年

以諫大夫言左將軍反侯以太僕與綏業大將軍定業益封二千三百六十戶

業

輔 憲

宜城戴侯燕倉

以假攝田使者發覺左將軍練等反封七百戶

尊武級舊

王莽

絕 弋陽節侯任官

以故丞相散事手捕反者上官練侯九百一十五戶

千秋惲岑固

商利侯王山壽

以丞相少史誘反者安入相府侯九百一十五戶

後坐罪免

成安嚴侯郭忠

以張掖屬國與匈奴戰斬王侯七百二十四戶

賞長簡

每王

絕 平陵侯范明友

以校尉擊反者獲首虜侯與定策益封九千九百二十戶

坐反誅

義陽傅介子

以平衆既監使誅樓蘭王斬首侯七百五十九戶

子有罪不得嗣

右(孝昭)八人

傅六安陽宜春安平富平陽平六人在恩澤外

戚桑樂一人

隨父九十五人

長羅壯侯常惠

以校尉光祿大夫擊匈奴獲首虜侯二千八百五十戶

成耶

翁後

爰戚靖侯趙長平

以平陵大夫告楚王延壽侯千五百三十戶

訢牧

傅成侯張章

以長安男子發覺霍禹侯三千九百一十三戶

建坐罪免

高昌壯侯董忠

以期門受張章言告霍禹侯一千一百戶

煬武

平通侯楊惲

以左曹中郎受董忠等言霍禹反侯二千五百戶

後坐誅謗不道誅

都成敬侯金安上

以待中中郎將受楊惲等言霍禹反侯七百七十七戶

常後欽孫紹揚

王莽
敗絕

合陽愛侯梁喜

以平陽大夫告反

放

萌

王莽敗絕

安遠繆侯鄭吉

以校尉光祿大夫將兵迎日逐王

光後求

吉魯紹封王莽敗絕

歸德靖侯先賢

以匈奴單于從兄日逐王

富昌

諷

襄

霸

永平十四年坐罪免

信成侯王定

以匈奴烏桓單于子率衆降侯

漢黃

後揚孫紹

義陽侯厲溫

以匈奴呼連累單于

後坐子謀反削爵為關內侯

右孝宣十一人

陽都營手平立昌水陽城爰氏扶陽高平陽

城傅邛成將陵建成西平平恩平昌樂陵平臺樂昌博望樂

成二十一人 在恩澤外戚樂平冠陽鄼周子南君四人 隨父

九三十六人

義成侯甘延壽

以使西域討郎支單于斬建

遷

相建武四年

駟望忠侯冷廣

以匈奴侯千八百戶

何齊

王莽敗絕

延鄉鄧侯李譚

以匈奴侯千八百戶

成

王莽敗絕

新山侯稱忠

以匈奴侯千戶

亡後

匡

以祖子紹封王莽敗絕

童鄉釐侯鍾祖

以匈奴侯千戶

亡後

匡

以祖子紹封王莽敗絕

樓盂侯訾順

以匈奴侯千戶

亡後

匡

以祖子紹封王莽敗絕

右孝元一人

安平平恩扶陽二人 隨父陽平樂安二人在恩

澤外戚九六人 孝成五人 安昌高陽安陽城陽高陵定陵殷

紹嘉宜鄉記鄉傳山十人 在恩澤外戚或陽博陽贊騏龍額

開陵樂陵博望樂成安平平阿成都紅陽曲陽高平十五人

隨父九三十人

外戚恩澤侯

臨泗侯呂公

以漢王后父賜號高后追尊曰呂宣王

文獻卷三百六十一

封建考

七

周吕令武侯澤以客從入漢定天下台初襲周侯高后時封為吕王嘉坐驕

右高祖三人

建成康侯釋之使釋之歸豐衛太上皇則坐反

扶柳侯吕平以皇太后姊子坐反誅

襄城侯義 壺關侯武 軹侯朝 昌平侯大俱以孝惠子侯後為王見諸侯王

贅其侯吕勝以皇太后昆弟後坐反誅

滕侯吕嬰始為舍人郎中後坐反誅

吕成侯吕忿以皇太后昆弟後坐反誅

祝茲侯吕瑩以皇太后昆弟後坐反誅

建陵侯張釋寺人王諸吕侯後坐免

右高后十人 隨父九十五人 戎奴 梁

軹侯薄昭高祖時以即從軍文帝立以戎奴 梁

鄢侯駟鈞後坐罪免

周陽侯趙兼以淮南王舅後坐罪免

右孝文三人

章武景侯竇廣國侯萬一千戶弟定常生坐罪免

南皮侯竇彭祖以皇太后昆弟良 桑林坐罪免

魏其侯竇嬰以將軍屯榮陽并破吳楚後坐罪棄市

盖靖侯王信以皇太后昆弟充 受坐罪免

右孝景四人

武安侯田蚡以皇太后昆弟恬坐罪免

周陽懿侯田勝以皇太后昆弟祖坐罪免

長平烈侯衛青以大將軍擊匈奴取朔方侯後破仇以青功封宜

不疑以青功封陰安登以青功封發干玄復家賞關內侯

免侯後坐罪免

免侯後坐罪免

免侯後坐罪免

免侯後坐罪免

免侯後坐罪免

免侯後坐罪免

平津獻侯公孫弘以丞相侯三度坐罪

冠軍景栢侯霍去病以校尉擊匈奴侯後以將軍破嬗亡

山樂以從祖父大將軍光功封雲弟以將軍光功封冠

周子南君姬嘉以周後侯置坐罪當坐罪延年以當弟安世黨

常建武初更為武後坐罔上要斬

樂通侯藥大以方術侯後坐罔上要斬

牧立恬侯石慶以丞相侯德坐罪

富民定侯車千秋以丞相侯八百戶遺順坐罪

右孝武九人三人趙父凡十二人

博陸宣成侯霍光以奉吏都尉捕反者莽何羅侯二千三百戶馬謀

安陽侯上官桀以騎都尉捕反者莽後坐反誅安以皇后父

宜春敬侯王訢以丞相侯子譚與大將軍譚咸章強元始

安平敬侯楊敞以丞相侯七百戶忠譚坐罪

富平敬侯張安世以右將軍輔政及定策益封延壽敞臨

放紙建武中為武始侯

陽都侯張彭祖以世父政掖庭令負有舊恩封

陽平節侯蔡義以丞相侯前為御史大夫與

右孝昭六人一人桑樂侯隨父凡七人

營平壯侯趙充國以後將軍與大將軍定策弘欽岑坐罪

平丘侯王遷以光祿大夫與大將軍定坐賊免

昌水侯田廣明以鴻臚擊反岳賜關內侯坐擊匈奴失期自殺

陽城侯田延年以大四司農與定策功侯坐盜都內錢自殺

爰氏肅侯便樂成以少府與定策功侯臨子鳳曾孫紹封

扶陽節侯韋玄成以丞相侯七玄成寬育湛王莽敗絕

平恩戴侯許廣漢以皇太子外相父昌成嘉以廣漢況旦敬王莽

高平憲侯魏相以丞相侯八弘坐不敬削

樂昌共侯王武以帝舅關內商安所殺

平昌節侯王無故以帝舅關內接臨獲建武五

陽城繆侯劉德以宗正關內侯行謹重為宗室率侯子安民安民

慶忌王莽絕颯王莽絕樂陵安侯史高以悼皇考舅子侍中與發術崇後岑紹以高曾孫

武陽頃侯史丹以帝為太子侍中輔導邛獲更始時為

卬成共侯王奉光以皇台父關內侯侯敬勲坐罪堅固紹封王

安平夷侯王舜以皇太后元侍中章淵買王莽絕

將陵哀侯史魯以悼皇考舅子侍中中郎將亡後

博望頃侯許舜以皇太子外祖父同產弟長敞黨並亡報弟

樂成敬侯許延壽以皇太子外祖父同產弟侍中湯常恭弟以

封去疾王莽絕

博陽定侯丙吉以御史大夫關內侯有舊顯坐罪奪爵昌紹封並

勝王莽絕

建成定侯黃霸以丞相侯六百戶後賞輔

建成定侯黃霸以丞相侯六百戶後

西平安侯于定國

以丞相侯六百六十戶

求恬

王莽敗絕

右孝宣二十一人一人陽都侯隨父凡二十一人

陽平頃侯王禁

以皇后父侯二千六百戶 鳳

襄岑

莫更始時為

殺兵所

安成共侯王崇

以皇太后母弟關內侯封九萬戶

奉世

持弓

王莽敗絕

平阿侯王譚

以皇太后弟關內侯封二千一百戶

仁

述

初建武

成都景成侯王商

以皇太后弟關內侯封三千戶 况

免

罪邑

以况弟紹王莽篡為陰信公莽

死敗

紅陽荒侯王立

以皇太后弟關內侯封二千一百戶

柱

王莽敗絕

曲陽煬侯王根

以皇太后弟關內侯封九萬戶 波

王莽時為直道公為莽所殺

高平侯王逢時

以皇太后弟關內侯封三千戶

置

王莽敗絕

新都侯王莽

以帝舅曼子侯封五千五百戶

後篡位誅

賞都侯王臨

以莽弟功侯二千戶 幾

自殺

樂安侯匡衡

以丞相侯封六百七十戶 後坐罪免

右孝元二人一人安平侯隨父凡三人

二人王莽臣斷崇譚以下皆附禁

安昌節侯張禹

以丞相侯封四百戶

安

更始時為兵所殺

高陽侯薛宣

以丞相侯封九千九百戶

後坐罪免

安陽敬侯王音

以皇太后從弟大舜侯封六百戶

攝

莽敗

成陽節侯趙臨

以皇后父訢侯封二千戶

欽

以後弟封

高陵共侯翟方進

以丞相侯封五千五百戶

宣

坐弟義舉兵誅王莽為莽所殺

定陵定侯淳于長

以皇太后姊子封千戶

坐大逆死

殷紹嘉侯孔何齊

以殷後孔子世吉簡子侯千六百七十戶

元始二年

為宋公

宜鄉侯馮參以中山王後坐罪死

汜鄉侯何武益封共二千戶後

博山簡烈侯孔光益封至萬戶後放王莽敗絕

右(孝成)十人安成平阿成都紅陽曲陽高平新都武陽侯八

人隨父九十八人

陽安侯丁明以帝舅侯後為王莽所殺

孔鄉侯傅晏益封至千戶後坐罪徙

平周侯丁滿七百三十九戶後坐罪免

高樂節侯師丹以帝舅侯後坐罪免

高武貞侯傅喜以帝舅侯後坐罪免

楊鄉侯朱博以丞相侯後坐罪死

新甫侯王嘉以丞相侯後坐罪死

汝昌侯傅商以太后父侯後坐罪免

陽新侯鄭業以皇太后同後坐非正免

高安侯董賢以駙馬侯後坐罪自殺

方陽侯孫寵以駙馬侯後坐罪徙

宜陵侯息夫躬以王祝詛逆謀侯後坐詛祝下獄死

長平頃侯彭宣以王祝詛逆謀侯後坐罪免

右(孝哀)十三人新成新都平陽營陵德五人隨父九十八人

扶德侯馬宮以侯二千戶

扶平侯王崇以侯二千戶葬篡位為廣新公後為莽

廣陽侯甄豐以侯五千三百六十五戶

所殺 承陽侯甄邯以侯二千四百戶葬篡位為承新公

承陽侯甄邯以侯二千四百戶葬篡位為承新公

褒魯節侯公子寬以周公世魯頃公文孫之相如後更姓公孫氏

褒成侯孔均以孔子世褒成烈君霸魯

防鄉侯平晏以長安少府與劉歆孔求孫遷四人使莽篡位為奉

新公

紅休侯劉歆以侍中義和與莽篡位為國師公後為莽所殺

寧鄉侯孔求以侍中五官中郎莽篡位為大司馬

定鄉侯孫遷以常侍謁者與

常鄉侯王暉以大僕與閻遷陳崇等八人使

望鄉侯閻遷以鴻臚與王

南鄉侯陳崇以大司徒司直

邑鄉侯李翁以水衡都尉與

亭鄉侯郝黨以中郎將與

章鄉侯謝殷以中郎將與莽篡位為大司馬

蒙鄉侯逮普以騎都尉與

盧鄉侯陳鳳以中郎將與

成武侯孫建以強弩將軍有莽篡位為成新公

明統侯侯輔以騎都尉明為人

破胡侯陳馮以父湯前為副校尉討

討狄侯杜勳以前為將軍侯丞平

古孝平二十二人功成博陸宣平紅舞楊純樂陵都成新甫

爰氏合陽義陽章鄉信成隨桃褒新賞都十七人隨父繼世

九三十九人

高祖六年始剖符封功臣曹參等為通侯

已上封大功臣二十餘人其餘日夜爭功不決未得行封上在

洛陽南宮從樓道望見諸將往往相與坐沙中語上曰此何語
留侯曰陛下不知乎此謀反耳上曰天下屬安定何故反乎留
侯曰陛下起布衣以此屬取天下今陛下為天子而所封皆故
人所親愛所誅皆生平所仇怨今軍吏計功以天下不足徧封
此屬畏陛下不能盡封恐又見疑平生過少及誅故即相聚謀
反耳上乃憂曰為之柰何留侯曰上平生所憎群臣所共知誰
最甚者上曰雍齒與我有故怨數嘗窘辱我我欲殺之為其功
多故不忍留侯曰今急先封雍齒則群臣人人自堅矣於是上
乃置酒封雍齒為什方侯而急趨丞相御史定功行封群臣罷
酒皆喜曰雍齒尚為侯我屬無患矣

第一曹參次之賜何帶劔履上殿入朝不趨

十二年詔列侯皆令自置吏得賦歛女子公主為列侯食邑者佩
之印賜大第室

秦漢之制列侯封君食租衣稅率戶二百千戶之君則二十萬
朝覲聘享出其中

徹侯金印紫綬改所食國令長名相又有家丞門大夫妻子

高后二年詔差次列侯功以定朝位藏于高廟世世勿絕嗣子各
襲其功位

文帝二年詔曰朕聞古者諸侯建國千餘各守其地以時入貢民
不勞苦上下歡欣靡有違德今列侯多居長安邑遠吏卒給輸費
苦而列侯亦無繇教訓其民其令列侯之國為吏及詔所止者遣
太子

三年詔曰前日詔遣列侯之國辭未行丞相朕之所重其為朕率

列侯之國遂免丞相勃遣就國

景帝後二年省列侯就國

先公曰初封列侯猶有君國子民之意故**文帝**遣列侯就國之詔謂其居長安無繇教訓其民也**景帝**既不令諸侯王治事故亦省徹侯之國蓋事權皆在其相所謂侯國者與郡邑無異矣

按**文帝**二年詔列侯就國而多辭未行三年乃免絳侯相印令率列侯就國是強之使行也絳侯既就國每河東守尉行縣至絳勃自畏恐誅嘗被甲令家人持兵以見人遂告其欲反夫既曰畏罪恐誅而乃被甲持兵以待守尉欲何為耶勃不學無術不能處功名之際而徒以來讒賊之口倘非遇**孝文**長者則不能全之矣然即此可以見當時

功臣侯之就國者憂讒畏譏不能不見陵於守尉方其身都將相則聲勢赫奕與人主朋儔及其返就國邑則心懷畏懼視守尉如官長蓋封爵之寵同乎黜徙迫之乃行與古人建侯之意異矣

武帝元鼎五年列侯坐獻黃金酎祭宗廟不如法奪爵者百六人

丞相趙周下獄死
服虔曰因八月獻酎祭宗廟時使諸侯各獻金於漢廟皇帝臨受獻金金火不如斤兩色惡王削縣侯免國臣贊曰食貨志帝越反時卜式上書願死之天子下詔褒揚布告天下天不莫應列侯以百數莫求從軍至酎飲酒少府省金而列侯坐酎金失侯者百餘人而表云趙周坐為丞相知列侯酎金輕下獄自殺然則知其輕而不糾趙周師古曰酎三重釀醇酒也

容齋洪氏隨筆曰**漢**自**武帝**以後丞相無爵者乃封侯其次

雖御史大夫亦不以爵封為間唯太常一卿必以見侯居之而軼典宗廟園陵動輒得咎由元符以降以罪廢斥者二十

人意武帝陰欲損侯國故使居是官以困之爾表中所載鄴侯蕭壽成坐犧牲瘦蓼侯孔臧坐衣冠道橋壞鄴侯周仲居坐不收赤側錢繩侯周平坐不繕園屋睢陵侯張昌坐乏祠陽平侯杜相坐擅役鄭舞人廣阿侯任越人坐廟酒酸江鄒侯靳石坐離宮道橋苦惡戚侯李信成坐縱丞相侵神道俞侯樂賁坐雍犧牲不如令山陽侯張當居坐擇博士弟子不以實成安侯韓延年坐留外國文書新時候趙弟坐鞠獄不實牧立侯石德坐廟牲瘦當塗侯魏不害坐孝文廟風發瓦輶侯江德坐廟即夜飲失火蒲侯蘇昌坐泄官書弋陽侯任宮坐人盜茂陵園物建平侯杜綬坐盜賊多自鄼侯至牧立十四侯皆奪國武帝時也自當塗至建平五侯但免官昭宣時也下及晉世此風猶存惠帝元康四年大風廟闕屋瓦有數枚傾落免太常荀寓五年大風蘭臺主者求索何棟之間得瓦小邪十五處遂禁止太常復興刑獄陵上荆一枝圍七寸二分者被斫司徒太常奔走道路太常禁止不解蓋循習漢事云

按漢之所謂封建本非有公天下之心故其予之甚艱而奪之每亟至孝武之時侯者雖衆率是不旋踵而褫爵奪地方其外事四夷則上遵高帝非功不侯之制於是有功侯者七十五人然終帝之世失侯者已六十八人其能保者七人而已及其外削諸侯則采賈誼各受其祖之分地之說於是以王子侯者一百七十五人然終帝之世失侯者已一百一十三人其能保者五十七人而已外戚恩澤侯者九人然終帝之世失侯者已六人其能保者三人

而已功臣外戚恩澤之失侯也諺曰予奪自裁王子之失侯則是姑假推恩之名以折之而苛立黜爵之罰以奪之與賈誼所謂一寸之地一人之衆無所利焉者異矣禁網既苛動輒得咎而坐宗廟酎金失侯者尤衆食貨志言帝因卜式上書願輸財助邊下詔褒美以諷天下而莫有應者於是列侯坐酎金失侯者百餘人蓋當時國計不給方事誅求雖庶人之多貲者亦必立告緡之酷法以取之宜其不容列侯坐享封君之富也

宣帝元康四年上令有司求高祖功臣子孫失侯者得槐里公乘周廣漢等百三十六人皆賜黃金二十斤復其家令奉祭祀世世勿絕

按高帝功臣至武帝時失侯者衆至是方訪求其後而褒錫之然纔得復除租役免同邊氓而已孝惠而後侯而失爵者則不復省錄矣

班固功臣侯表序曰自古帝王之興曷嘗不建輔弼之臣所與共成天功者乎師古曰天功天下之功業也震書辭典曰欽哉惟時亮天功也漢興自秦

二世元年之秋楚陳之歲師古曰謂陳涉自稱楚王之時也初以沛公總帥

雄俊三年然後西滅秦立漢王之號五年東克項羽即皇帝位八載而天下乃平始論功而定封訖十二年侯者百四十

有三人時大城名都民人散亡戶口可得而數裁什二三師古曰歲與纔同十分之內纔有二三也是以大侯不過萬家小者五六百戶封爵

之誓曰使黃河如帶泰山若厲國以求存爰及苗裔應劭曰封爵之

誓國家欲使功臣傳祚無窮也帶衣帶也厲砥厲石也河當何時如衣帶山當何時如礪石言如帶礪國猶求存以及後世之子孫也於是申以丹書之信重以白馬之盟師古曰丹書辭在高紀白馬之

盟謂刑白馬軟又作十八侯之位次孟康曰唯作元功蕭曹其血以為盟也

乃詔作位次下竟師古曰謂蕭何曹參張敖周勃樊噲商

至十八也高后二年復詔丞相陳平盡差列侯之功錄第

下竟藏諸宗廟副在有司師古曰副貳也其列侯功籍已始

未嘗不欲固根本而枝葉稍落也故逮文景四五世間流民

既歸戶口亦息列侯大者至三四萬戶小國自倍師古曰自

如之師古曰言其貲財亦稍子孫驕逸忘其先祖之艱難多

陷法禁墮命亡國或云子孫訖于孝武後元之年靡有子遺

耗矣師古曰子然獨立貌言無罔亦少密焉故孝宣皇帝愍

而錄之乃開廟減覽舊籍詔令有司求其子孫或出庸保之

之德降及孝成復加恤問稍益衰微不絕如綫善乎杜業之

納說也曰昔唐以萬國致時雍之政虞夏以之多羣后享共

已之治師古曰羣后謂諸湯法三聖殷氏太平周封八百重

譯來賀是以內怨之君樂繼絕世隆名之主安立亡國師古

立亡國之後至於不及下車德念深矣未及下車封黃帝之

心功光于王府也故追求先父之志錄遺老之策高其位大

其寓師古曰寓謂愛敬飭盡命賜備厚師古曰大孝之隆於

是為至至其沒也世主歎其功無民而不思所息之樹且猶

不伐師古曰謂召伯上於其棠之下而聽訟人况其廟乎是

以燕齊之祀周並傳子繼弟及歷載不墮豈無刑辟繇祖

之竭力故文侯賴焉師古曰言國家非無刑辟而功臣子孫

之力令有嗣續也漢功臣亦皆剖符世爵受山河之誓存以著其號亡以顯其魂賞亦不細矣百餘年間而襲封者盡或絕矣姓或乏無主朽骨孤於墓苗裔流於道主為愍隸死為轉屍以往况今甚可悲傷聖朝憐閔詔求其後四方忻忻靡不歸心出入數年而不省察恐議者不思大義設言虛亡則厚德掩息遶東布章晉灼曰許慎云遶難行也東古簡字也然此必布開彰於天下簡少也言今難行封則得繼絕者少若也師古曰遶讀與容同非所以視化勸後也三人為衆雖難盡繼宜從允功孟康曰言人三為衆雖難盡繼取其功允高者一於是成帝復紹蕭何哀平之世增修曹參周勃之屬得其宜矣以綴續前記究其本末并序位次盡于孝文以昭元功之侯籍云

進拔幽隱公孫弘自海嶺而登宰相於是寵以列侯之爵又壽容前代詢問耆老初得周後復加爵邑自是之後宰相畢侯矣元成之際晚得殷世以備賓位漢興外戚與定天下侯侯二人服虔曰呂后兄周呂侯澤建成侯侯釋文師古曰與讀曰祿言祿其功也故誓曰非劉氏不王若有亡功非上所置而侯者天下共誅之是以高后欲王諸呂王陵廷爭孝景將侯王氏脩侯犯色師古曰卒用廢黜是後薄昭寶嬰上官衛霍之侯以功受爵其餘石父擡春秋衰紀之義應劭曰春秋天子將納后於紀本于帝舅緣大雅申伯之意應劭曰申伯周宣王元舅也為邑於謝後世也寤廣博矣是以別而叙之

按班孟堅述西都列侯除王子之外以功臣為一表外戚恩澤為一表蓋功臣者以勲績顯著而得之者也外戚恩

澤者以遭逢忝竊而得之者也然裔夷之降虜有何勲庸
乃齊之功臣宰相而封侯未為恩倖乃齊之恩澤又博陸
之定大策輔幼主長平冠軍之征匈奴取朔方破祁連其
殊勲偉績本不緣椒房至李貳師則祇緣文寵以進伐大
宛得名馬之事又不足言且不能終守臣節今列貳師於
功臣列博陸長平冠軍於外戚抑揚之意殊所未喻

容齋洪氏隨筆曰周之初諸侯千八百國至赧王之亡所存
者才八國耳七戰國與衛也然趙韓魏分晉而立齊田氏代
姜而興其有二各不及二百年俱非舊邦秦始皇乃呂氏子
楚幽王乃黃氏子所謂羸茅之先當不歆非類然則惟燕衛
二姬姓存而衛至胡亥世乃絕若以為召公康叔之德則周
公豈不及乎漢列侯八百餘人及光武而存者平陽建平富

平三侯耳建平以先降梁王永奪國平陽為曹參之後富平
為張安世之後參猶有創業之功若安國則湯子也史稱其
推賢揚善固宜有後然輕重其心殺人則多矣獨無餘殃乎
漢侯之在王莽朝皆不奪國况武乃但許宗室復改餘皆除
之雖都侯亦不紹封不知曹張兩侯何以能獨全也

鄱陽 馬 端臨 貴與 著

封建考

後漢王侯

更始二年既誅王莽遷都長安李崧趙萌說更始宜悉王諸功臣
 采鮪爭之以為高祖約非劉氏不王更始乃先封諸宗室社為定
 陶王慶為燕王欽為元氏王嘉為漢中王賜為宛王信為汝陰王
 然後立王匡為汝陽王王鳳為宣城王朱鮪為膠東王王常為鄧
 王申屠建為平氏王陳牧為陰平王衛尉大將軍張卬為淮陽王
 執金吾大將軍廖湛為穰王尚書胡殷為隨王柱天大將軍李通
 為西平王五威中郎將李軼為舞陰王水衡大將軍成丹為襄邑
 王驃騎大將軍宗佻為潁陰王尹尊為鄧王唯朱鮪辭不受

定陶王社光武族兄春陵侯敞之子漢兵起社兄弟相率從軍更始立社為大常將軍紹封春陵侯入關封定陶王建武二年改封城陽王十一年薨謚恭王子平為蔡陽侯奉社祀真禹嘉

燕王慶春陵侯敞同產弟更始入關封燕王更始敗為亂兵所殺子順歸光武封武成侯十一年卒國除遵奔

元氏王欽光武族父更始入關封元氏王為侍中更始敗歸洛陽建武二年改封欽為泗水王十年薨子終封淄川王薨子柱為印侯奉終祀鳳

漢中王嘉光武族兄春陵侯敞同產弟漢兵起從軍破宛奉興德侯入長安為漢中王鄧禹西征嘉自歸到洛陽從征伐後封順陽侯十五年卒子參嗣循章

宛王賜光武族兄蒼梧太守利之孫伯升起兵隨眾攻諸縣更始立以為光祿勳代伯升為大司徒都長安封宛王光武即位歸洛陽建武二年封慎侯十三年更戶邑為安成侯二十八年卒子閔嗣商昌

汝陰王信賜之兄子從伯升起兵更始即位為奮威大將軍入長安封為汝陰王將兵平定江南據豫章光武即位詣洛陽封為汝陰侯永平十三年坐楚王英事國除

王匡新市人王莽末南方饑饉人廢入野澤掘鳧菹而食之更相侵奪匡與王鳳為平理爭訟遂推為渠帥眾數百人藏於綠林中號新市兵更始立以匡為定國上公遣攻洛陽拔之更始入長安封為此陽王匡與張卬橫暴三輔所授官爵皆羣小賈豎關中離心與張卬守河東為鄧禹所破後叛更始降赤眉

王鳳新市人與王匡共起綠林中更始立以鳳為成國上公入長安封為宣城王

朱鮪新市人王莽地皇三年與王匡等起兵北入南陽號新市兵皆自稱將軍更始立以鮪為大司馬入長安封為膠東王鮪以為非劉宗不受封乃徙為左大司馬與李通王常等鎮撫關東光武即位鮪以伯升被害時預其謀又諫更始無遣蕭王北征遂堅守洛陽不敢降帝令岑彭說之鮪乃降拜平狄將軍封扶溝侯後為少府傳封累世

王常潁川舞陽人王莽末與王鳳等起兵入南郡號下江兵時漢兵敗新市平林兵各欲解去伯升乃造下江壁說常以合從之利常即率諸將引兵與漢兵合遂破殺莽將更始立以常為廷尉大將軍入昆陽與光武共破尋邑都長安封為鄧王更始敗常自歸

於光武封山桑侯遷為漢忠將軍後拜常為橫野大將軍位次與諸將絕席十二年薨謚節侯子廣嗣徙封石城侯後坐楚王事國除

申屠建不知何許人漢兵起更始立為西屏大將軍將兵攻武關莽既誅自長安奉迎遷都封為平氏王赤眉西入關更始遣兵拒之師敗張卬廖湛等與建謀共劫更始掠城中東歸南陽謀泄為更始所殺

陳牧平林人王莽地皇三年與廖湛聚眾數千人號平林兵劉聖公因往從牧等為其軍安集掾光武及伯升亦起春徒與諸部合兵而進更始即位以牧為大司空入長安封為陰平王赤眉西入關立劉盆子更始使牧與王匡等屯新豐拒之張卬申屠建等謀劫更始京奔事覺更始殺建卬遂勒兵攻更始更始兵敗奔新豐

疑臣牧等與印同謀乃收斬之

張卬新市人地皇三年與王匡木鮪等共起兵號新市兵自稱將軍後屬漢兵更始即位以卬為衛尉大將軍入長安封淮陽王與王匡等輔政橫暴三輔所授官爵皆羣小賈豎四方怨叛赤眉西入關卬與王匡守河東為鄧禹所破還奔長安欲掠城中轉攻所左東歸南陽復為羣盜更始不從卬等謀劫更始謀泄遂勒兵掠東西市戰於宮中更始大敗赤眉至高陵匡卬迎降之更始降赤眉卬與謝祿謀縊更始殺之

廖湛平林人下江新市兵起湛與陳牧聚眾千餘人號平林兵以應之聖公為其軍安集掾聖公立拜湛為執金吾大將軍入長安封為穰王及赤眉西入關王匡張卬謀東奔申屠建及湛以為然入說更始不從乃謀劫更始成前計事覺遂勒兵掠東西市更始與戰大敗後與王匡等同降赤眉為赤眉將兵攻順陽侯嘉兵敗為嘉所殺

胡殷不知何許人更始即位以為尚書入長安封隨王赤眉西入關更始兵敗王匡張卬等欲勒兵掠城中以自富東歸南陽更始不從卬乃與殷等謀欲劫更始謀泄卬殷等遂勒兵掠東西市更始與戰大敗後與王匡等降赤眉

李通南陽宛人王莽時為五威將軍從事不樂為吏自免歸下江新市兵起通陳讖文勸光武起兵更始立以通為柱國大將軍輔漢侯至長安封西平王持節還鎮荊州光武即位徵為衛尉建武二年封固始侯拜大司空十八年卒謚恭侯子音嗣定黃壽

李軼南陽宛人通之從弟與通共謀起兵更始上軼為五威中郎

將入長安封舞陰王後與朱鮪共守洛陽為鮪所殺

成丹不知何許人亡命綠林中聚眾至七八千人號下江兵後從

漢軍更始立以為水衡大將軍入長安封襄邑王赤眉西入關立

劉盆子更始遣丹與王匡等屯新豐以拒之後為更始所殺

尹尊不知何許人更始封為郾王光武時據地最強帝使執金吾

賈復擊降之宗佻事跡首尾史所不載

宗姓王王子

齊武王續光武長兄與光武共起兵更始即位為大司徒更始忌而殺之

光武建武二年立續長子章為太原王十一年徙為齊王二十一年薨謚曰哀王

傷王石坐罪徙燕州侯無忌石子復封齊王喜承建安

年國

魯王興齊武王次子建武二年封嗣光武兄仲後徙為北海王立三十九年薨謚靖王子敬王睦哀王基坐罪頃王普

恭王翼康王後

下傳侯張齊武王孫傷王石弟建武三十年封它人

臨邑侯復北海靖王子建武三十年封駒駘

趙孝王良光武叔父更始立以良為國三老更始敗亡奔洛陽建武二年封廣陽王五年徙趙王十三年降為趙公立十六年薨

子節王栩項王商靖王宏惠王乾懷王豫獻王赦

珪魏受禪降為崇德侯城陽恭王祉泗水王欽安城孝侯賜順陽

懷侯嘉成武孝侯順事跡並見更始順陽

高鄉侯堅城陽恭王子建武十三年封柱封印侯奉終祀鳳

中山王茂欽從父弟王莽末起兵後降光武封中山王十三年以

疏屬降為穰侯

宜春侯匡茂弟亦起兵附漢建武二年封 浮 護 瓌坐罪朕為亭侯

白牛侯嵩安成孝侯賜之子建武三十年封後坐楚事國除

甘里侯閔 弋陽侯國成武孝侯順叔父弘之子建武二年封

黃季侯廣順陽侯嘉之子建武十三年封

襄邑侯劉永更始長子更始降赤眉為謝祿所殺明年求兄弟與

母詣洛陽帝封求為襄邑侯奉更始祀後徙封成陽侯卒 子巡

嗣復徙封灌澤侯 姚毅執侯歆 壽光侯鯉俱更始子求弟與

求同時封

建武二年詔曰惟宗室列侯為王莽所廢先靈無所依歸朕愍之

其並復故國若侯身已歿屬所上其子孫見名尚書封拜

十三年詔曰長沙王興真定王得河間王邵中山王茂皆襲爵為

王不應經義其以興為臨湘侯得為真定侯邵為樂成侯茂為單

父侯其宗室及絕國封侯者九一百三十七人降趙王良為趙公

太原王章為齊公魯王興為魯公長沙王興河間王邵事蹟首尾史不載餘並見前入

右光武時封宗室王侯

東海恭王強建武二年立為皇太子十七年母郭后廢強陳懇誠

願備蕃國十九年封為東海王二十八年就國帝以強廢不以過

去就有禮故優以大封兼食魯郡合二十九縣都魯立十八年薨

子靖王政嗣立四十四年薨 子頃王肅嗣立二十三年薨 子

孝王臻嗣立三十一年薨 子懿王祗嗣立四十四年薨 子羨

嗣二十年魏受禪以為崇德侯

永元十六年封頃王肅第二十一人皆為列侯 永建二年封

孝王臻三弟敏儉為鄉侯一初平四年封懿王祗子琬為汶陽

文獻卷二百六十一 封侯考 一

侯

沛獻王輔建武十五年封右馮翊公十七年郭右廢為中山太后
故徙輔為中山王并食常山郡二十年徙封沛王二十八年就國
立四十六年薨 子釐王定嗣立十一年薨 子節王政嗣立十
四年薨 子孝王廣嗣立三十五年薨 子幽王榮嗣立二十年
薨 子孝王琮嗣薨 子恭王懼嗣薨 子契嗣魏受禪廢為侯
中元二年封獻王輔子寶為沛侯 永平元年封寶弟嘉為僮
侯 元和二年封釐王定第十二人為鄉侯 元興元年封節
王正第二人為縣侯

楚王英以建武十五年封為楚公十七年進爵為王二十八年就
國英母許氏無寵故英國最貧小三十年以臨淮之取慮須昌二
縣益楚國十二年坐交方士造作圖書有逆謀廢徙丹陽自殺國
除立三十三年國除 建初元年封萊子夔侯 夔五弟皆為列侯
並不得置相臣吏人 种後徙封六侯 子度狗

濟南安王康建武十五年封濟南公十七年為王二十八年就國
三十年以祝阿安德朝陽平昌臨陰重立六縣益濟南國立五十
九年薨 子簡王錯嗣立六年薨 子孝三香嗣立二十年薨無
子國絕

永建元年順帝立錯子阜陽侯顯為嗣是為釐王立三年薨
子悼王廣嗣立二十五年薨無子國除 中元二年封安王康
子德為東武城侯 永元十一年封簡王錯第七人為列侯
永初二年封孝王香第四人為列侯 香又上書分爵土封叔
父薦子元西平昌侯昱子嵩皆為列侯

東平憲王蒼建武十五年封東平公十七年進為王顯宗即位拜

為驃騎將軍置長吏掾史負四十人位在三公上以東郡之壽張
須昌山陽之南平陽宗湖陵五縣益東平國立四十五年薨子
懷王忠嗣明年帝乃分東平國封忠弟讓為任城王餘五人為列
侯忠立十一年薨子孝王敞嗣立四十八年薨子頃王端嗣
立四十七年薨子凱嗣立四十一年魏受禪降為侯
永平二年封憲王蒼子二人為縣侯十一年賜蒼列侯郎十
九牧諸王子年五歲已上能趨拜者令帝之永元十年封蒼
孫梁為矜陽侯敞第六人為列侯求寧元年封蒼孫二人為
亭侯

任城孝王尚東平憲王蒼之子懷王忠之弟元和元年封食任城
亢父樊三縣立十八年薨子貞王安嗣立十九年薨子節王
崇嗣立三十一年薨無子國絕延熹元年相帝立河間孝王子
恭為參戶亭侯博為任城王以奉其祀立十三年薨無子國絕
熹平四年靈帝復立河間貞王邈新昌侯子佗為任城王奉孝王
後立四十六年魏受禪廢為侯

末元十四年封孝王尚子福為桃鄉侯亢為當塗鄉侯
阜陵質王延建武十五年封淮陽公十七年進爵為王二十八年
就國三十年以汝南之長平西華新陽扶樂四縣益淮陽國後坐
罪徙為阜陵王立五十一年薨子殤王冲嗣二年薨無嗣和
帝初冲兄魴是為頃王立三十年薨子懷王恢嗣立十年薨
子節王代嗣立十四年薨無子國絕相帝立勃道亭侯便親為
恢嗣是為恭王立十三年薨子孝王統嗣立八年薨王子敞立
建安中薨無子國除

永元八年封頃王魴第十二人為鄉亭侯延光三年封懷王

兩兄弟五人為鄉亭侯

廣陵思王荆建武十五年封山陽公十七年進爵為王立二十九

年坐使巫祭祀祝詛自殺十四年封荆子元壽為廣陵侯又封

元壽弟三人為鄉侯元壽卒子商嗣商卒子條嗣

臨淮懷公衡建武十五年立未及進爵為王而薨無子國除

中山簡王焉建武十五年封左馮翊公十七年進爵為王三十年

徙封中山王立五十二年薨子夷王憲嗣立二十一年薨子

孝王弘嗣立二十八年薨子穆王暢嗣立三十四年薨子劭

王稚嗣無子國除

永元四年封夷王憲第十一人為列侯永寧二年封孝王弘

二弟為亭侯永和六年封穆王暢弟荆為南鄉侯

琅邪孝王京建武十五年封琅邪公十七年進爵為王永平二年

以太山之蓋南武陽華東萊之昌陽盧鄉東牟六縣益琅邪立三

十一年薨子夷王宇嗣立二十年薨子恭王壽嗣立十七年

薨子貞王尊嗣立十八年薨子安王據嗣立四十七年薨

子順王容嗣立八年薨子熙嗣在位十一年建安時坐謀欲過

江被誅

建初七年封夷王宇第十三人為列侯永初元年封恭王壽

第八人為列侯延光元年封貞王尊第四人為鄉侯永和

五年封安王據第三人為鄉侯

右光武子十五

千乘哀王建永平三年封明年薨年少無子國除

陳敬王羨永立三年封廣平王七年徙為西平王肅宗崩遺詔徙

為陳王食淮陽郡立三十七年薨子思王鈞嗣立二十一年薨

子懷王竦嗣立二年薨無子 永寧元年立敬王子安壽亭侯
崇為陳王是為頃王立五年薨 子孝王承嗣薨 子愍王寵嗣
後為術所殺陳由此敗

永元十二年封思王鈞六弟為列侯 永初七年封敬王孫安
國為耕亭侯

彭城靖王恭永平九年賜號靈壽王 取其美名十五年封為鉅鹿

王建初三年徙封江陵改南郡為國元和二年徙為六安王以廬
江郡為國肅宗崩遺詔徙封彭城王食楚郡立四十六年薨 子

考王道嗣立二十八年薨 子項王定嗣立四年薨 子孝王和
嗣立六十四年薨 孫祗嗣七年魏受禪降為侯

永初六年封靖王恭子阿奴為竹邑侯 元初五年封考王道
第三人為鄉侯 本初元年封定兄弟九人皆為亭侯

樂成靖王黨永平九年賜號重熹王十五三封樂成王建初四年

清河之游觀津勃海之東光成平潞郡之中水饒陽安平深澤
八縣益樂成國立二十五年薨 子哀王崇嗣立二月薨無子

明年和帝立崇兄脩侯延為樂成王 是為釐王立十五年薨
子隱王賓嗣立八年薨無子 明年立濟北惠王子長為樂成

王後坐罪貶臨湖侯 延光元年以河間孝王子得嗣靖王後以
樂成比發絕故改國曰安平孝王立三十年薨 子續嗣立三十

四年坐不道誅國除下邳惠王衍永平十五年封四年以臨淮郡
及九江之鍾離當塗東城歷陽全椒合十七縣益下邳國立五十

四年薨 子貞王成嗣立二年薨 子愍王意嗣立五十七年薨
子哀王宜嗣薨無子國除

永建元年封貞王成兄二人及惠王孫二人皆為列侯 陽嘉

元年封愍王意第八人為鄉亭侯

梁帝王暢永平十五年封為汝南王建初四年徙為梁王以陳留之鄆寧陵濟之薄卑父已氏成武九六縣益梁國立二十七年薨

子恭王堅嗣立二十六年薨 子懷王匡嗣立十一年薨無子

順帝封匡弟孝陽亭侯成為梁王是為夷王立二十九年薨 子敬王元嗣立十六年薨 子彌嗣立四十年魏受禪降為侯

永元十六年封恭王堅第二人為鄉侯

淮陽頃王炳永平五年封常山王建初四年徙為淮陽王以汝南之新安西華益淮陽國立十六年薨子殤王側嗣立十三年薨無

子立兄防子侯章為常王國立二十五年薨是為靖王 子頃

王儀嗣立十七年薨 子節王豹嗣立八年薨 子嵩嗣三十二年遭黃巾賊棄國徙建安十一年國除

末建二年封頃王儀兄二人為亭侯 永嘉元年封節王豹兄

四人為亭侯

濟陰悼王長永平十五年封建初四年以東郡之離狐陳留之長垣益濟陰國立十三年薨于京師無子國除

右孝明子八王

千乘貞王伉建初四年封立十五年薨 子寵嗣永元七年改國

名樂安立二十八年薨是為夷王 子鴻嗣鴻生質帝梁太后詔

以樂安國土卑濕租委鮮薄改鴻封勃海王立二十六年薨是為

孝王無子太后立和帝弟蠡吾侯悝為勃海王奉鴻嗣立二十五

年為王甫誣以大逆自殺國除

平春悼王全以建初四年封其年薨葬京師無子國除

清河孝王慶建初四年立為皇太子後廢為清河王立二十五年

薨長子祐嗣(殤)帝是為(安)帝(鄧)太后崩(安)帝乃上慶尊號曰(孝)德
皇 子愍王(虎)威嗣立三年薨無子 鄧太后立(樂)安王(寵)子(延)
平為(清)河王是為(恭)王立三十五年薨 子(慈)質帝崩(太)尉(李)固
等議徵立之(梁)冀及(曹)騰等不從遂立(相)帝(其)陵人(劉)文等謀立
(赫)事(覺)坐奪爵自殺國除 明年立(安)平(孝)王子(經)為(其)陵王(奉)
孝(德)皇(祀)是為(威)王立二十五年薨 子(貞)王(定)嗣立四年薨
子(獻)王(忠)嗣立十三年薨嗣子為(黃)巾所害無後國除
子(濟)北(惠)王(壽)以(永)元二年封(分)太(山)郡為國立三十一年薨 子
節王(登)嗣立十五年薨 子(哀)王(多)嗣立三年薨無子 立(戰)鄉
侯(安)國為(濟)北王是為(釐)王立十年薨 子(孝)王(次)嗣立七年薨
子(蠻)嗣薨 子(政)嗣薨無子國除
(河)間(孝)王(開)以(永)元二年封(分)樂(成)勃(海)涿郡為國立四十二年

薨 子(惠)王(政)嗣立十年薨 子(貞)王(建)嗣立十年薨
子(安)王(利)嗣立二十八年薨 子(陔)嗣立四十一年(魏)受禪為
侯

蠡吾侯(翼)(河)間(孝)王(開)子(元)初六年(鄧)太后徵(濟)北(河)間王諸子
諸京師以(翼)為(平)原(懷)王(勝)和(帝)子後為(王)聖(江)京等所
諸貶為(都)鄉侯(父)開上書願分(蠡)吾(縣)以封(翼)順(帝)從之(翼)卒子
志(嗣)為(大)將(軍)梁(冀)所立是為(相)帝(梁)太后詔追尊(河)間(孝)王為
孝(穆)皇(蠡)吾(先)侯曰(孝)崇(皇)皆立陵廟置令丞 更封(帝)兄(都)鄉
侯(頌)為(平)原王(留)博(陵)奉(翼)後(建)安十一年國除
解(廣)亭侯(淑)以(河)間(孝)王子(封)淑(卒) 子(長)嗣(長)卒 子(宏)嗣(為)
大(將)軍(竇)武(所)立是為(靈)帝(追)尊(皇)祖(淑)為(孝)元(皇)皇(考)長(為)孝
仁(皇)立陵廟置令丞 拜(河)間(安)王(利)子(康)為(濟)南王(奉)孝(仁)皇

祀康薨子贊嗣贊薨子開嗣立十三年魏受禪降為侯

城陽懷王淑以永元二年分濟陰為國立五年薨於京師無子國除

廣宗殤王萬歲以永元五年封分鉅鹿為國其年薨無子國除

右孝章子七三

平原懷王勝和帝長子少有痼疾延年元年封立八年薨葬於京師無子鄧太后立樂安夷王寵子得為平原王奉勝後是為哀王立六年薨無子太后又立河間王開子都鄉侯翼為平原三嗣安帝廢之國除

右孝和子一五

按范蔚宗東漢書叙諸王止於和帝蓋自孝和以後殤冲質三帝皆早世安順桓三帝皆無子惟靈帝二子皇子辨

陳留王協辨嗣位為董卓廢而殺之立協是為獻帝獻帝六子其二為曹操所殺建安十七年封熙為濟陰王懿為山陽王邈為濟北王敦為東海王然是時政在曹氏天下三分雖有封爵之名而實無所謂土地租食矣既封後九年魏始受禪四王皆降為列侯云

世祖初大司馬吳漢請封皇子不許重奏連歲建武十五年三月乃詔羣臣議大司空融固始侯通膠東侯復高密侯禹太常登等奏議曰古者封建諸侯以藩屏京師周封八百同姓諸姬並為建國夾輔王室尊事天子享國永長為後世法故詩云大啓爾宇為周室輔高祖聖德光有天下亦務親封立兄弟諸子不違舊章陛下德橫天地興復宗統褒德賞勲親睦九族功臣宗室咸蒙封爵多受廣地或連屬縣今皇子賴天能勝衣趨拜陛下恭謙克遜抑

而未議羣臣百姓莫不失望宜因盛吉時定號位以廣藩輔明親尊宗廟重社稷應古今舊厭衆心臣請大司空上輿地圖太常擇吉日具禮儀制曰可夏四月戊申以太牢告祠宗廟丁巳使大司空融告廟封皇子輔為右翊公英為楚公陽為東海公康為濟南公蒼為東平公延為淮陽公荆為山陽公衡為臨惟公焉為左翊公京為琅邪公

按秦罷侯置守曾不數年始皇死而羣雄蜂起六國之裔與其強宗大槩皆逐秦守宰而自王故地秦亡之後項羽主約霸天下然所建置諸侯亦多是已自王之人及漢東出并三秦討項羽劉項之勢既分而諸侯多附漢其中立懷兩端者皆為漢所擊滅如趙歇魏豹田橫之類是也既滅項氏之後所建諸侯其存者惟共敖臧荼然亦不旋踵而併之然後裂土以封韓彭英盧張耳韓信吳芮之徒

蓋自是非漢之功臣不得王矣逮數年之後反者九起異姓諸侯王多已夷滅於是悉取其地以王子弟親屬如荆吳齊楚淮南之類蓋自是非漢之同姓不得王矣然一再傳而後賈誼晁錯之徒拳拳有諸侯強大之慮蓋以為親者無分地而疏者偪天子必為子孫之憂於是或分其國或削其地其負強而動者則六師夷之蓋西漢之封建其初也則勦滅異代所建而以畀其功臣繼而勦滅異姓諸侯而以畀其同宗又繼而勦滅疏屬劉氏王而以畀其子孫蓋檢制益密而猜防益深矣昔湯武雖以征伐取天下然商惟十一征周惟滅國者五十其餘諸侯則皆襲前代所封未聞盡以宇內易置而封其私人周雖大封同姓然

文昭武穆之邦與國咸休亦未聞成康而後復畏文武之族偏而必欲夷滅之以建置已之子孫也愚嘗謂必有公天下之心而後可以行封建自其出於公心則選賢與能而小大相維之勢足以綿千載自其出於私心則忌疎畏偏而上下相猜之形不能以一朝居矣景武而後令諸侯王不得治民補吏於是諸侯雖有君國子民之名不過食其邑入而已土地甲兵不可得而擅矣然則漢懲秦之弊復行封建然為人上者苟慕美名而實無唐虞三代之公心為諸侯者既獲裂土則遽欲效春秋戰國之餘習故不久而遂廢蓋罷侯置守雖始於秦然諸侯王不得治民補吏則始於西都景武之時蓋自是封建之名存而封建之實盡廢矣至東漢更始既入關雖盡王諸造謀復漢者然

諸人雖有受封之名多聚處京師布列要職實未嘗有裂土建國南面稱孤之事光武既定天下至建武十五年方封諸皇子為公十七年皇子之為公者方進爵為王徐徐如此未嘗有盡王子弟以鎮服天下之意蓋是時封建之實已亡尺土一民皆上自制之諸侯王不過食其邑入之租而於所謂藩維屏扞本無所預故亦不必急急然視為一大事如周漢有天下之初也

明帝永平三年封皇子建為千乘王羨為廣平王十五年封皇子恭為鉅鹿王黨為樂成王衍為下邳王暢為汝南王昞為常山王長為濟陰王初帝按地圖將封皇子悉半諸國明德馬后見而言之曰諸子食數縣於制不已儉乎帝曰我子豈宜與先帝子等乎歲給二十萬足矣

按前漢孝文之時梁懷王薨賈誼上疏拳拳以諸侯強大
 皇子單弱為慮欲帝徙皇子大其封疆而帝從之後漢顯
 宗則謂我子豈宜與先帝子等於是封皇子悉半光武所
 封諸王與孝文異意何也蓋孝文之時分封大小可以
 驗國勢之強弱顯宗之時分封之大小不過繫租入之豐
 儉國勢則宗藩強而皇子弱殊非強幹弱支之遠慮租入
 則兄弟豐而諸子儉乃見先人後已之公心然亦可以知
 封建一事至東漢之初名存實亡故諸侯王土地之大小
 初無繫於理亂安危之大勢矣

建初四年按輿地圖令諸國戶口皆等租入歲皆八千萬

東漢皇子封王其郡為國諸王受封者受茅土歸以立社明諸侯受封皆受茅土歸立社按本朝為宮室自有制度至於列侯歸國者不受茅土不立宮室各隨其貧富而裁別之庶以守其

王國有傳如師不臣相秩二千石力躍為魯相行縣三老執

傳經內史如即中尉郎中令衛士長醫工長求巷長持

書京郡謁者禮樂長衛士長醫工長求巷長

祠祀長即中其紹封削絀者中尉內史官屬隨亦率減

考原卷二百六

圭建考

六

